

2018

年号

NO.61

JASPA

Japan Software Party Association

Make the future

～変革に挑むJASPA～



北海道ソフトウェア事業協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
ソフトウェア事業協同組合
Y R P 情報産業協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
K T - N E T
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人ITキャリア推進協会

青森県ソフトウェア協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
電算ソフトウェア協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
広島県西部情報サービス協同組合
一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

宮城県ソフトウェア事業協同組合
グリーンIT協同組合
中央イメージテクノロジー研究開発協同組合
ハイテクノロジーソフトウェア開発協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合
一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

全国ソフトウェア協同組合連合会

東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前7F TEL 03-3473-9822 FAX 03-5798-7589 ホームページ <http://www.jaspanet.or.jp>



目次

■会長ご挨拶	03
全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)会長 安延 申	
■巻頭特集①	
JASPA特別座談会 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 中野課長に聞く、経済産業省が取り組む重点テーマについて	04
■トピックス、ニュース	
全国組合員の活動実績紹介	10
■特集②	
JASPA概要と専任委員会の紹介、会員の特典、サービスメニューなど	17
概要、事業内容、役員	18
組織図、22世紀フォーラム紹介	19
専任委員会の紹介	20
サービスメニュー	22
連合会の活動実績、JASPA会員組合	23
■JASPA会員組合の紹介／NEWS 東西南北レポート	
会員組合の事業内容のご紹介	26
■NEW LEADERS	
株式会社アイ・クリエイティブ 代表取締役 鈴木勝博様	34
株式会社R J C 代表取締役 郡司良男様	35
株式会社アイティエス 札幌事業所 取締役所長 河原健光様	36
■平成29年JASPA活動報告	
賀詞交歓会、年間の運営委員会、懇親会、懇親スポーツ大会など	37
■JASPA活動予定	
平成30年度運営委員会などの活動予定	42
編集後記	42

明日の安心のために… JASPA共済

JASPA共済に是非ご加入下さい!!

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)では構成員企業の経営の安定を目指すことにより、ソフトウェア開発関連技術の向上ならびに、構成員企業相互の共済および福利厚生の実現を図る事を目的に共済事業を行っております。それが全国ソフトウェア協同組合連合会共済(JASPA共済)です。

全国ソフトウェア協同組合連合会 生命共済&(上乗せ)がん共済

月会費500円&1,000円の
合計1,500円(1口)~のお支払いで、
会員企業の役員・従業員様の生命共済及び
幅広いがん保障が受けられます。

※詳細は下記JASPA事務局迄お問合せ下さい。

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)共済会事務局
TEL 03-3473-9822【JASPA共済】
ホームページアドレス <http://www.jaspanet.or.jp> E-mail jaspajimu@jaspanet.or.jp

- 1.生命共済では月々一口500円の掛金(2口まで)で死亡時300万円の保障が受けられます
- 2.がん共済では一口1000円の掛金(1口まで)でがん罹患による
 - a.診断給付金100万円、
 - b.入院給付金日額1万円、
 - c.手術給付金(手術の種類により変動)
 の保障が受けられます
- 3.がん共済は既存の生命共済の上乗せ共済です(※生命共済に加入の会員が加入できません)
- 4.1年更新型です。中途解約金はありません
- 5.会員企業単位での全員加入型のみ取扱
- 6.共済会費負担は会員企業(全額損金処理可能)

※毎年決算時に剰余金に対し配当が行われます。



中島洋会長の後を受けて会長に就任いたしました安延です。私は、今から20年前、ちょうどJASPAの活動が本格化したころの、通商産業省(当時)の担当課長であり、今、お会いしても懐かしいメンバーの方々が結構おられます。当時の会長は向浩一さん、事務局長が横尾良明さんで、まさか、私が向さんの職責を担うことになろうとは夢にも思っていませんでした。当時と立場は代わりましたが、微力ながらJASPAの発展のために邁進してまいりたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

さて、AIの急激な進化、IoT技術の急速な発達を背景にして、巷では「第四次産業革命」、「ソサエティ5.0」、「コネクテッドインダストリー」など、ITに関わる言葉が溢れかえっています。日本の産業全体、経済全体の活力を維持するためには、ITが不可欠であることも多くの人々が認識するようになりまし、書店の店頭にもこの種の書籍が溢れかえっています。ただ、この全体的な盛り上がり、必ずしも私たちの業界の高揚感にはつながっていないように思われます。何となく仕事は途切れないが、将来の展望、成長につながる道筋が見えてこないという感じでしょうか。

今は、経済全体が比較的好調が続いているおかげで私たちのビジネスも全体としては好調です。しかし、現在の好調は、異次元の金融緩和や東京オリンピックに向けての様々な投資の拡大、財政刺激などの、いわば一時的なマクロ要因に支えられています。他方、個別に見ると、電機産業は中国や韓国、東南アジアとの競争にさらされて苦しんでおり、基幹とも言える自動車産業でも内燃機関から電気自動車へのシフトや自動運転へのシフトが喧伝されています。金融業ではブロックチェーン

技術を用いた仮想通貨に代表されるFintechによって大きな転換が囁かれていますし、小売業では海外のネット企業が急伸によって、既存企業は苦戦を余儀なくされています。言ってみれば、私たちのお客様が不安を抱えている、私たちの事業は、基本的に企業のお客様を相手とした「対企業ビジネス」ですから、こうしたお客様の不安が投影されて、私たち自身が、なかなか高揚感が感じられなくなっているのではないのでしょうか。

しかし、良く考えてみれば、これらの「不安」の多くが、IT技術の中身や方向性が分からない、新しいIT技術の使い方が分からないという種類のように思われます。ということは、私たちの技術と知識が問われているということでもあります。

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)は、全国各地のソフトウェア企業の協同組合の連合組織であり、その活動の基本はメンバー相互の情報の共有化、事業開拓や福利厚生支援等を行うことです。それと同時に、政府の政策の動向や予算措置、制度の改変などに関して、個々のメンバーでは得にくいような情報の収集や政府との接触などを行っています。今後は、こうした情報をメンバーに還元するとともに、メンバーの要請を政治や行政に向けて発信していく機能がますます重要になっていくと考えています。

私たちは、出来るだけ全国の仲間・メンバーとの接点を増やし、交流機会を増やすとともに、全国各地の協同組合が、更にJASPAに参加することで、団体としての力もつけていきたいと考えております。是非、皆様と力を合わせて、JASPAが新しい時代のかじ取り役を担えるように努めて参りたいと思います。



**JASPA
特別座談会**

■ 日 時 平成29年10月19日(木) 10:00～12:00

■ 場 所 笹川記念館 第5会議室

中野 剛志 (経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課課長)

【全国ソフトウェア協同組合連合会】

安延 申 (JASPA会長、首都圏ソフトウェア協同組合理事長、日本IT団体連盟副会長)

中島 洋 (JASPA理事・名誉会長、首都圏ソフトウェア協同組合理事)

横尾 良明 (JASPA事務局長、首都圏ソフトウェア協同組合最高顧問)

岡積 正夫 (JASPA顧問、グリーンIT協同組合理事)

齋藤 光仁 (首都圏ソフトウェア協同組合理事、埼玉ソフトウェア事業協同組合理事)

水野 堅市 (YRP情報産業協同組合理事長)

林 知之 (JASPA 22世紀フォーラム会長・交流委員長・監事、埼玉ソフトウェア事業協同組合理事長)

石井 雄二 (JASPAビジネス推進委員長)

塚本 学 (JASPA経営支援委員長)

近森 満 (JASPA教育・人財委員長代理)

守田 徹 (JASPA広報委員長、グリーンIT協同組合理事長)

(安延) 経済産業省の情報処理振興課が改組され、情報技術利用促進課となりました。本日は中野課長より主要な施策の説明をいただき、そのことも含め出席者の皆さんにはぜひ忌憚のないご意見を自由にお話しいただきたいと思います。

1.経済産業省改組の狙い

(中野) 今回の改組では、情報処理振興課の所管業務のうち、主に業としてのソフトウェア産業は情報産業課が担当し、当課はITの利活用や人材育成を所管することになりました。つまり、ITの供給側を情報産業課、需要側を当課が見ることになります。それから、中小企業やベンチャー企業振興など産業の最先端を切り開いていく部分も当課が受け持つことになります。

個人的な見方ですが、IT産業は1990年代前後、北米を中心に急拡大し、わが国は敗北感を持って見ていましたが、あれから20年がたち、産業自体が成熟化してきているような印象もあります。それに合わせ、政策を大きく変えようと今回の組織再編が行われたのかどうかは定かでは

ありませんが、産業全体がそういった過渡期にあるような気がしますので、いろいろな方のご意見を聞いて勉強させていただきたいと思っています。

2.IT人材の育成

(中島) 需要側の視点では、人材育成について、皆さんからいろいろな意味で取り組んでほしいという意見が出ています。特に要求が大きいの2点あって、一つはデータサイエンティストの育成です。膨大な生データを意味のあるデータに加工する段階の技術者が必要だという声が多く聞かれます。もう一つは、政府も積極的に取り組んでいるセキュリティ人材の育成です。圧倒的に足りないという意見が非常に多いです。特にIoTに関係する機器のセキュリティは量・種類ともに膨大で、本当に守り切れるのかという不安が大きいです。

ソフトウェア開発の人材も不足している状態です。ITには最先端の部分で今も相変わらず挑戦が続いている分野と、既に、ある程度技術的に成熟した分野がありますが、産業需要と言う目で見ると、そ

の大半を後者が占めています。そういったコンベンショナル(伝統的)な部分から、オープンで新しい環境に切り開く仕事が必要と求められます。しかし、古い方の技術が分からなければ新しい環境に移行できないので、既存の知識を持った技術者も大量に必要です。

3.ユーザーの視点から

(岡積) ユーザー視点で見ると、中小企業が参入する機会をもっと増やす必要があります。特に地方では、自分たちが持っているビジネスを何とかしようという機運はありますが、残念ながら新分野のビジネスをつくって具体化した事例はほとんどありません。

そこで、こういうことにトライしてはどうかというものを三つ挙げました。一つ目は、地域データセンターの活用と地方自治体向けビジネスへの参入です。地域のIT企業をもっと自治体の仕事のコアの部分で活用してほしいのです。セキュリティ関連やデータセンターは地方にもいろいろありますが、うまく使われておらず、大手



中野 剛志
経済産業省
商務情報政策局 情報技術利用促進課長

が仕事を持っていってしまいます。そこで、地域のデータセンターがうまくコンソーシアムを組んで最適な方法論を企画することで、地方の中堅企業にもビジネスチャンスを生むのです。

二つ目に、商工会議所の会員企業に向けて、新たなクライアントサービスを提供する方法です。大手では、地方における中小企業の顧客向けのサポートは全くできていないので、一商工会議所単位の企業向けの部分は、地域の企業が中心になってクラウドサービスを提供します。

三つ目に、アジアに進出する日本企業の情報連携を支援する仕事です。一昨年の暮れ、沖縄県が中心となって、沖縄、香港、シンガポールの海底ケーブルが結ばれました。これまでも自動車産業をはじめとする日本の中堅企業はかなりアジアに進出していますが、トヨタが提唱する「かんぱん方式」で工場を動かそうと思っても、プロキュアメントの部分で情報が本社とうまく連携できないことがありました。そこで、沖縄を拠点にして情報連携体制を築けば、中堅IT企業もグローバルな分野に参画できるという考えです。

(中野) 自治体のIT化やクラウド化がなかなか進まないのは頭の痛い問題です。これらの課題をどうやってクリアすれば良いと考えておられるのですか。

(岡積) まず、基幹システムは、過去との継続性もありますから簡単に変えられません。しかし、自治体が使っている情報投資の60%は情報系で、基幹システムは40%しかないので、60%の情報系のクラウド化が進めば、3割ほどコストが下がります。だから、データセンターを活用して、



中島 洋
JASPA理事名誉会長
首都圏ソフトウェア協同組合理事

情報系の部分をクラウド化すればどうかというところから攻めていきました。

4.IT人材教育の推進

(近森) 国として第4次産業革命を推し進める中で、中小企業や各地の製造業は新しい技術をあまり活用できていません。それはIoTのことを知る機会がほとんどないからです。活用するには、地域にいるIT業界が支援していくしかないで、そうした体制づくりが必要です。

その点で地方版IT推進ラボはとてもいい取り組みだと思っています。IoTやAI、ビッグデータが分かる人たちをあぶり出し、その人たちをどんどん活躍させる仕組みになっていくと思います。そういう意味で、人材不足ではなく、教育不足が非常に重要だと私は捉えています。ですので、中小企業でも教育に目を向けるような体制ができれば、ITを利用したいと言っている各メーカーが活用できる機会は増えるのではないかと思います。3Kや5KといわれているIT業界も今は割と見直されてきていると思うので、非常にいいチャンスだと思います。

(中野) 人材育成や教育には、二つの問題があります。一つは、一般的に教育や人材育成は時間がかかり、今必要な人材をすぐには供給できないことです。供給できるようになった頃には、産業構造が変わっています。もう一つは、IoT (Internet of Things) はネットとものづくりの世界の融合ですから、ITのこともものづくりのことも分かっているなければなりません。しかし、ものづくりは学校で学ぶものではなくて、オン・ザ・ジョブ・トレーニング (職場内訓練: OJT) で学ぶ部分が大きいです。すると、僕ら役所の出番はなくなってしまいます。

また、ITと企業とのマネジメントが密接に関わるようになると、企業戦略そのものがITと密接に関わるようになり、ITが分からない経営者は駄目だということになって、IT部門やアウトソースに任せられなくなります。しかも、ものづくりのノウハウや経営のコアな戦略は簡単に人に話さないで、経営とソフトウェア技術者が密接な信頼関係にない限り、企業は自らの中にソフトウェア技術者を抱え込むことになるでしょう。

それから、僕はアジャイル型開発にすごく注目しています。ウォーターフォール型とは違い、どんどん変わっていくわけですから、ベンダーが途中でいなくなったりすると困るし、かなり機微なことも共有する必要があります。ITだけを分かっている人間を育てるのであれば割と簡単だったのですが、企業経営そのものも分かっているといけなくなると、政府では限界が

あると思います。

生データを意味のあるデータにする人材が足りないという点においても、生データに意味付けをする意義が分かっている人は、企業内で経営自体を分かっている人であり、それも学校で学ぶことではありません。IT産業が成熟化したという点では、今や普通の製造業の普通の設備投資であってもITが絡まないものではなく、既にIoTが普通の設備投資という世界になっています。だから、ITは、これまで聞き慣れなかった特殊ものを導入したり、専門職種の人たちだけが知っていたりするものではなく、パスポートのようにみんなが持っている世界として、完全に融合したものなのです。従って、ITの推進は製造産業政策そのものではないかという感じがしています。

ITを企業経営のご真ん中に持ってくるのであれば、人材育成も自ら中で行い、仮に外へ出しても、外のベンダーとユーザーの関係は長期的かつ非常に密なものであるべきです。つまり、下請けにやらせてコスト面で駄目なら切するという方法で



安延 申
JASPA会長
首都圏ソフトウェア協同組合理事長
日本IT団体連盟副会長

はなく、お互い営業秘密的な情報まで共有して、簡単にどこかに行かないような関係を築かないと、アジャイル開発はできません。この点が、私が7月に着任してから難しいと思っている部分です。

(中島) 企業内で人材育成をするときに、投資の期間が長いので、経営が持ちこたえられないという声もあります。課長がおっしゃったとおり、上からカリキュラムを作って教える体系では無理で、OJTが中心になるでしょう。しかし、OJTは企業にとって出口が見えない投資になり、時間がどれだけかかるか分かりません。その間、ある程度の支援が欲しいと思うのですが、その点はいかがですか。

(石井) 私も同感です。日本の学校や教育機関にそういう環境をつくっていくことも大事ですが、やはり実務の中で戦力にしていくためにはOJTだと思います。われわれ中小企業は、OJTのコストがとて大きいのです。大手であればどんどん教育できますが、実務をさせながら覚えさせるには

時間がかかってしまいます。

本当はもっと環境を与えて勉強させたいので、助成を手厚くして、われわれが教育環境をもっと整えられるようになれば、戦力となる人材を育てられると思います。やはり良いものを作っても、ビジネスの仕組みがしっかりできていなければ売れないと思います。それは学校で教わるものではなく、実務でいろいろ見る中で覚えていくことだと思います。

(林) 学校で小さな頃から英語教育をしているのと同じように、まずはITという学問を国語・算数・理科・社会と同じように教えることによって、社会に出たときに役立つと思うのです。自分の経験でも、OJTの中で「あのときの学問はこういうことだったのか」ということがあります。



横尾 良明
JASPA事務局長
首都圏ソフトウェア協同組合最高顧問

そのことを前提として、人材が社会に出て活躍するまでの間に現場はどうするかという部分が大事だと思います。そのためには、補助金などによるバックアップが必要だと思います。

5.部活動を活用したプログラミング教育

(中野) 課内でこっそり検討していることで、ちょっとご協力いただければと思っている施策が一つあります。それはプログラミング教育に関するものです。プログラミング教育については、実際問題として教えられる学校の先生がいないとか、負担がかかり過ぎて大変だという議論があります。何かにつけて変えることは大変ですが、下手な先生が授業をすれば、逆に嫌いになるおそれもあります。

そこで何を考えたかという、特に高校の部活動(パソコン部)を盛り上げることです。というのも、部活文化は世界に冠たる日本の文化らしく、子どもがほとんど全員部活に参加しているような国は他にないそうです。部活の良いところは、自主的に取り組める点と、先輩が後輩を教える、OBが現役を教えるルートができることです。これが一度できれば、われわれが関わらなくても勝手に回っていきます。さらに大きなメリットは、プログラミングスクールなどとは違い、無料である



林 知之
JASPA 22世紀フォーラム会長・
交流委員長・監事
埼玉ソフトウェア事業協同組合理事長

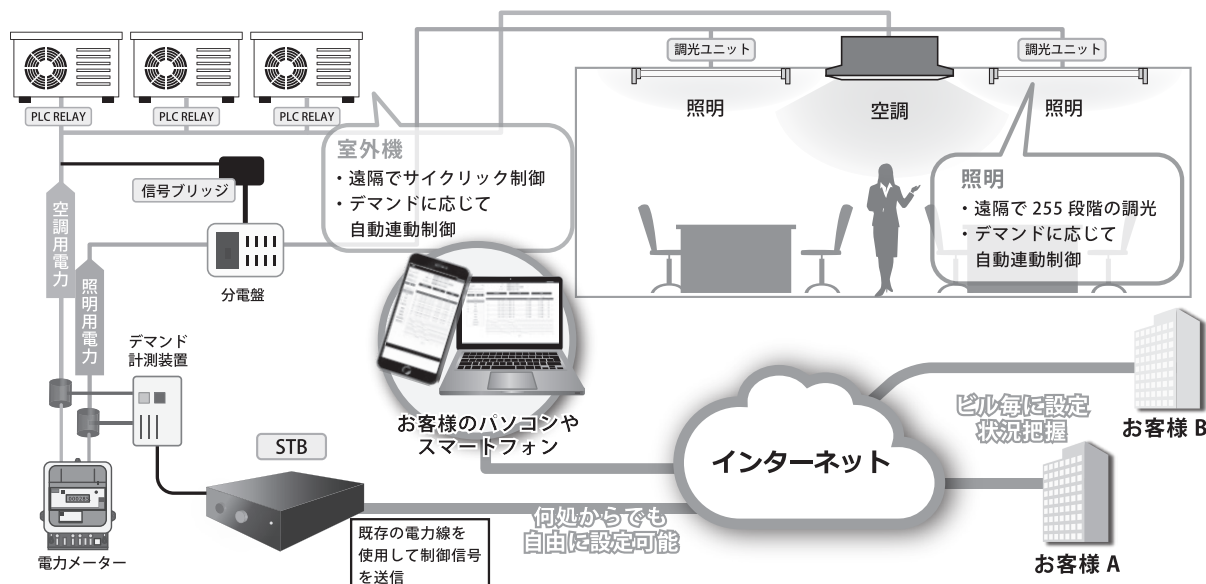
ことです。やる気のある子が取り組めるし、教え合うことができます。

将来的には、地方の高校でもIT部だけは全国級という学校があれば、そのIT部に入りたくて入学するというぐらいに盛り上げたいと考えています。しかも、部活で育てられた人材は、うまくいけば皆さんの会社の即戦力になる可能性があります。やはり部活となると、大人たちが高校野球に夢中になっているのと同じように、目を輝かせて取り組んでいる子どもたちを見れば助けとなるわけです。これをムーブメントとして仕掛けたいと思っています。

6.わが国の人材確保の課題

(安延) 整理すると、実は政策的に見たときに、今の議論もそうだし、役所の政策もそうなのですが、二つの話が混在している

BEMSをOZUPLCで簡単に実現!



株式会社テラソリューション

所在地: 〒036-8084 青森県弘前市高田2丁目13-18

TEL: 0172-27-2705 FAX: 0172-27-2660

のです。それは日本においてIoT時代の人材が絶対的に不足しているということ、もう一つはコンピューターサイエンスをリードするようなトップの技術者や研究者が生み出せていないということです。

大型汎用機の時代は、コンピューターの台数自体が大したことはありませんでした。クライアントサーバーの時代になっても、ビジネスの世界はマイクロソフトとインテルの組み合わせの上でシステムをつくる人材がいればよかったのです。ところが、スマートフォンをはじめとして、今はいろいろな組み合わせのプラットフォームが出てきました。これからIoTの時代が本格化することに伴い、しばらくは絶対的



水野 堅市
YRP 情報産業協同組合理事長

な仕事量は増えるわけですから、業界にとってはいいことなのですが、問題は人材が絶対的に不足することです。この状況は今後も緊迫化しながらも、なかなか解消されません。だから、学校から大量に送り出されるような仕組みが必要であり、まずは絶対量を確保しなければなりません。ビジネスは基本的にはその方向なので、僕はそちらに日々頭を悩ませているわけです。

ただ、もう一つの問題について言うと、わが国は政策的に、全体をリードするようなトップクラスの技術者や研究者を生み出すのが基本的に下手です。例えば日本の国立大学にコンピューターサイエンス学科はないのではないのでしょうか。ところ

が、中国では、理系で最大の定員を抱えるのがコンピューターサイエンスです。そういう国に対抗して、トップで勝負できるかというと、かなり悲観的です。

ただ、金融の世界でブロックチェーン技術をサトシ・ナカモトという個人、まあ、この人は日本名ですが日本人ではないという説の方が強いですが・・・、が編み出したように、コンピューターサイエンスは一人の天才が全体の方向を変え得る世界なので、そちらに政策として目を向けるのかどうかを考えた方がいいですね。

7. プログラミング教育の将来

(安延) 例えばインバクトのあるダンスで知られる大阪の登美丘高校ダンス部には、「あの学校でダンスをやりたい」という子がたくさん越境入学しているそうです。つまり、プログラミングもコンテストばかりでなく、部活のような形で裾野を広げて量を確保する政策も重要で、トップのレベルを上げる政策と裾野を拡げる政策をごちゃ混ぜにすると、非常に中途半端になる気がします。

(林) 宮城県石巻市のイトナブという団体は、石巻工業高校でボランティアで授業をしています。同時に、町の中にも出入り自由の場をつくって、高校生ぐらいまでの子どもたちが、自由にそこで勉強しています。

(中野) 部活の前に考えていたアイデアは、将棋の奨励会のようなものが商店街の空き店舗にあって、そこにコンピューターが置いてあり、SEのOBがいて、放課後に子どもたちが集まってプログラミングを教わるようなものです。

しかし、ふとしたときに部活だと思いついて高校を回っていると、設備が良くなかったり、Wi-Fiが入っていない高校もあったりします。そこで、企業などから、土曜日のある時間だけ会社のパソコンを使っていっていただけたらすると助かります。それから、先ほどのダンス部



石井 雄二
JASPAビジネス推進委員長

の例ではありませんが、YouTubeのアクセス数が増えたり、部の先輩から起業家やスターが出たりして、「俺たちもあんなりたいからパソコン部に入ろうぜ」という流れができるといいなと思っています。

(安延) もう一つは、専門的なことを教えられるような高校教師がいるかということ、いないのです。先ほどの登美丘高校ダンス部の場合は、コーチが卒業生で、ダンスパフォーマンスはコーチの会社で作っているのです。そこでお金が回る仕組みができています。ITも同じで、教えられる先生をわれわれの会社から出すときには、機会費用が発生します。そのとき、厚労省から補助金があるような仕組みがあると、政策としてもう少しスムーズに回るかもしれません。

(中野) あとは、これから退職者も増えてくると思うので、そのような人たちに教えてもらうのもいいし、皆さんの会社



守田 徹
JASPA広報委員長
グリーンIT協同組合理事長



ビジネスの発展を コンサルティング集団の グリーンITが支援します。

ITシステム最適化

ウェブマーケティング

物流効率化

ECサイト構築

人材教育／研修

企業統合／M&A

財務戦略

福利厚生サポート

グリーンIT協同組合 <http://www.green-it.or.jp/>

※無料相談受付中

〒108-0074 東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺7F TEL03-3473-9774 FAX 03-3473-9825



近森 満
JASPA教育・人材委員長代理

ではパソコンを仕事で使うので、常に最先端のものを入れているでしょうから、中古でも良いものを持っているかもしれない。子どもたちにはそれで十分ですから、中古になったらデータを消去して高校に寄付するというのもいいでしょう。

(齋藤) 2020年に小学2年生からプログラミングの教育を始めると文科省が公に発表しているので、そこで教える人を供給したいと思っていろいろ調査しているのですが、全く分からないことばかりなのです。手当が付かないことだけは分かっています、教職免許が要るか要らないかは分かりません。

(中野) いわゆるプログラミングを教えるのではなく、プログラミング的思考を教えるというふうになっているのですね。

(横尾) 最低限、大学を出ていること、専門学校では駄目だという縛りはあります。

(林) だから、部活や地域の活動だったら、何の問題もない。

(塚本) 高専にはロボットコンテストというものがあります。プログラミングは見えない部分の方が多いですが、ロボティクスの部分からであれば、子どもたちも入りやすいと思います。そういう動くものにはIoTの要素が全部入ってくるはずなので、オートモティブといわれる部分にも生かされるし、その部分をぜひ取り組むといいのではないかと思います。

それから、われわれサービスとして提供する側に立つと、ITスキル標準をぜひ標準化していただかないと、われわれが見ても分からないスキル表があります。サービスとして画一化されていなくて、これを一般ユーザーが見たら、何だこれと思うでしょう。でも、国のお墨付きの定義で評価されていれば、お客さんも分かりやすくなると思うのです。その辺を考えていただきたい。

(安延) はっきり言って、IT人材に関する仕組みは、どんどん使いにくくなっています。昔の情報処理技術者の時代が一番分かりやすかったと思いませんか。どんどん高度化するといいいながら、どんどん分かり

にくくなっています。

(中野) 今ちょうど、ITSSを改定しているところなので気を付けます。

(安延) 変えれば変えるほど難しくなっていくのは避けて欲しいと思います。

8.ベンチャー、中小、地方について

(安延) この業界ではソフトウェア会社がたくさん出てきて、継承の問題がだんだん深刻化しつつありますが、中小やベンチャーについて、聞いておいてほしい話がありますか。

(水野) YRP情報産業協同組合は発足から20年たちますが、コアメンバーには30年を超える会社も多くいます。今の仕事はそれなりにきちんとこなしていて、地元ともいろいろな情報連携をしていますが、5GやIoTなどになると、今までと



岡積 正夫
JASPA顧問
グリーンIT協同組合理事

コスト削減

売上げの向上

業務効率化



グローバルコミュニケーション GCgate/Web会議システム

パソコン、タブレット、スマホからでもインターネット環境さえあれば、
映像、音声、**資料**を使ったコミュニケーションが簡単に行えます！

利用シーンは多種多様！

- ・拠点間会議
- ・海外の工場との検品
- ・お客様との打ち合わせ
- ・面接／面談
- ・社内研修
- ・朝礼
- ・テレワーク（在宅勤務）
- ・お客様サポート
- ・ペーパーレス会議
- ・技術者の遠隔同行
- ・電話＋資料共有
- 他にも活用方法は多数！

<JASPA会員特別価格>

初期費用

10,000円

会議室使用料

月額 6,250円～

【問合せ先】JASPA事務局 03-3473-9822



塚本 学
JASPA 経営支援委員長

産業構造が変わりつつあり、そういう話を組合でしても、ついていけないような雰囲気が出ています。

昨年3月、横須賀市でIoT推進ラボを認定していただいたのですが、今まで私たちがやってきたことはシーズを一生懸命作り込むことで、ニーズの拾い上げが全くできていませんでした。良いものは作れるけれど、コストを全く考えないで作ってしまうので、誰も使ってくれません。今までのIT業界の体質なのかもしれませんが、人月がいくらという考え方から脱却して、IT業界自体の生産性を上げる方法に変えていかなければなりません。AIが進んでしまうと、プログラマーの失職が始まると思うので、ユーザー志向の考え方をどんどん入れていかないと、業界として裾野が広がっていかないと思います。

それから、中国につくった合弁会社を時々見に行くと、思い切ってITに投資しています。例えばQRコードを使ってキャッシュレスの時代にどんどん向かっています。アプリでタクシーの配車をするとか、法律を乗り越えたようなものをどんどん作って、いいものだけを後付けして法律を作っています。

日本でも、まずは地方でIoTの実例のようなものをどんどん作っていったらいいものができれば全国展開できるような仕組みをぜひ構築してほしいと思います。

9. シニア層の活用について

(塚本) 事業継承については、組合の傘下にある法人は経営者も技術者も高齢化しており、なかなか新しいことに舵を切れません。組合としては、そうした企業に対して提言するなり、M&Aを促進させるなりするべきだと思うし、経営支援の切り口からも今後努力したいと思っています。

それから、シニア層の方々は汎用機世代です。その方々ができることを考えた場合、データサイエンティストのような人材が足りないのであれば、シニア層の方々をその方面に再配置することも国から提言してもらってはどうかと思います。

(安延) シニア層はいまだに需要があります。メガバンクは今でも全て汎用機からです。問題は、シニア層に仕事がたくさん来ても処理し切れないことであり、だからといって新卒の若い人たちに汎用機のことを教えるのはさすがに技術者として罪悪感があるという経営者の方がいました。

(塚本) 業界としても会社としても、これからのITエンジニアは、あるものをいかにうまく組み合わせるかが重要ですが、ただ、地方の法人にフォーカスすると、仕事がないのです。地方は地方で、地方のエンジニアはダイレクトにエンドユーザーと接しており、仕様書など要らないから、出来上がるものがちゃんと動けばいいという世界でやっています。ですから、ある意味、汎用機で鍛えられた時代に近い環境で、そういう世界で仕事をしてこられたシニアの方々を有効に活用することはできるのではないかと。

(石井) シニア層が今の仕事に入ろうとすると、若い人たちがかなりマネジャー層になっていて、世代間のギャップがあるために、仕事はあるけれどもこんな人は使いたくないというので、結局は仕事になっていないのが現状だろうという気がします。ただ、そういう人材が運用保守などで何か働ける環境ができるといいと思います。

(中野) 人材が足りないのになかなか教育できない中で、シニア層はスキルを持っているけれども使えないという状況では、そのうち本当に人材が逼迫してきたら、「使えない」ではなくて「使わざるを得なくなる」のではないのでしょうか。

シニア層の問題とも関係するかもしれませんが、役所が「こうします」と言うよりは、皆さんにお願いという意味も含めて、本当は中小企業のユーザーの面倒を見ていただきたいと思うのです。しかし、中小企業だからこそ、皆さんの側にスキルがないと、中小企業のIT化は難しいという気がしています。

中小企業も、顧問弁護士や会計士や税理士はいつも同じ先生に頼むではないですか。それと同じでITに関しても、顧問契約的な信頼関係を中小企業と結んでいただいて、中小企業のIT化の面倒を見ていただけるくらいになるといいと思います。

(守田) 冒頭に説明がありましたように経済産業省の情報処理振興課が改組され、情報技術利用促進課となりました。本座談会は、その新しく組織された担当課長との有意義な情報交換の場となりました。JASPAとして情報技術利用促進課の施策を支援するとともに、全国組織であるJASPAから今後とも諸々の情報を提供させていただきますので、ぜひ施策に盛り込んでいただければと思います。

(安延) 本日はどうもありがとうございました。



齋藤 光仁
首都圏ソフトウェア協同組合理事
埼玉ソフトウェア事業協同組合理事

沖縄県ソフトウェア事業協同組合 21世紀型ソフトウェア開発コア集団

代表理事 幸地 長秀

沖縄県那覇市久茂地1丁目2番地20号

TEL: 098-951-1844

URL: <http://www.softokinawa.net/>

(株) Okicom

(株) おきぎんエス・ピー・オー

(株) ソフトウェア・リンク

(有) グローコミュニケーション

(株) ダイワ・メディカル・システム

(有) コンピュータリサーチ

(株) サウス・ウインド・システム

小渡 玠

小那覇 勉

松長 健照

前里 耕司

大西 和男

金城 太

仲井間 宗邦

㈱国建システム

(有) ノアクラフト

(株) アイエヌジーアットマーク沖縄

(株) システック沖縄

(株) ソフトウェアファクトリー

(株) VLC

(株) イマジン

(有) アラタ

幸地 長秀

金城 忠

仲宗根 功

赤嶺 宏

比屋根 修

新城 浩一郎

佐久川 進

新田 純也

■ JASPAフェア2017を開催しました

平成29年5月18日(木)、東京都港区の品川フロントビルにて、JASPA コラボレーションフェア2017を開催しました。

全国の組合・会員企業の相互理解の機会創出に加え、「内から外へ」の発展を目指し、外部企業からの協賛スポンサー獲得ならびにCSAJ、JIETとの3団体合同のビジネスマッチング会を企画・開催いたしました。また、日本IT連盟団体に後援いただき、幅広い人脈への集客を試みた結果、史上最高となる416名を達成することができました。

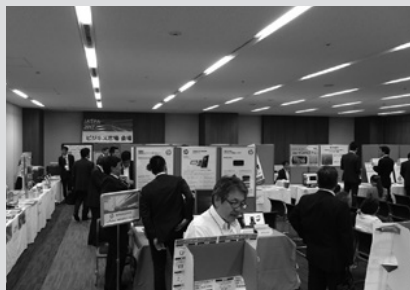
来場者についても、経営者層が中心だった昨年とは異なり、若い世代の方たちが多く参加され、新たな形での集客に前進が見られました。

会場面では来場者数の増加に伴い若干の手狭感がありましたが、活気あるフェアの印象に繋がったと感じます。当日プログラム面では、各講演、企業展示、ビジネスマッチングを同時進行で行いましたので、来場者の流れに課題を残しましたが、講演会場では立ち見の方も出るなど各セッションにおいてますますの好評価をいただきました。

今回は、平成30年5月17日(木)に、品川区総合区民会館(きゅりあん)にて開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。



経済産業省 商務情報政策局
情報処理振興課課長 滝澤 豪氏



展示会場

■ 一般社団法人 ITキャリア推進協会と相互入会をしました

平成29年7月13日、札幌で開催された運営委員会(理事会)にて、一般社団法人ITキャリア推進協会と相互入会が承認されました。これで、正会員15団体、賛助会員8団体、合計23団体の組織になりました。

ITキャリア推進協会は、セキュリティエンジニア不足の現状を憂い、セキュリティ業界で活躍しているタレントが集いエンジニアの育成を図ることを目的として立ち上げた協会です。講座のみではなく、受講後は協会で受託している案件にSESで参加することもでき(講座での試験合格者)、講座のみでは不足するスキルをOJT形式で学ぶことも可能です。

また、理事長である大和田博道氏はサン・マイクロシステムズ社出身、シマンテック社にてサイバーディフェンスアカデミーの講師として活躍、副理事長でもある平正人氏は、トレンドマイクロ社で中央省庁を担当するホワイトハッカーとして活躍されていました。各講座では両名が講師を務めることもあり、その際、直接指導を受けることも可能です。

JASPAとしてのメリットとしては以下の通りです。

1. 協会で開催する各講座に特別価格で参加することが出来ます。
2. 各講座の資格取得者は、協会で受託している案件に優先的に参画し、技術の向上が見込めます。



JASPAフェア2017で講演をする平正人副理事長

■ 中華民国情報サービス産業協会の皆様にJASPAを訪問いただきました

平成29年10月16日(月)、中華民国情報サービス産業協会(CISA)の皆様へJASPAを訪問いただきました。台湾の各ベンダーの皆様は、日本のICTベンダーのIoTビジネス対応に関心を持っており、国際ビジネスとして連携していきたいとのことでした。

全体での名刺交換で始まり、JASPA吉弘副会長、CISA邱理事長のウェルカムスピーチ、河原交流副委員長による記念品贈呈、記念撮影の後、日本及び台湾の会社紹介、JASPA安延会長の挨拶と盛りだくさんの内容となり、大変有意義なイベントになったと思います。

日本からは、東京システムハウス株式会社、データテクノロジー株式会社、株式会社アーク情報システム、株式会社メビウスの4社に参加いただき、それぞれの製品やサービスの紹介をしていただきました。台湾の皆様より、たくさんの質問もいただき、気が付いてみると予定の1時間を大幅に超え、2時間にわたるイベントとなっていました。このような国際交流を通じて、今後、新たなビジネスに繋がることを期待したいと思います。



JASPA吉弘副会長とCISA邱理事長



JASPA安延会長、JASPA河原交流副委員長、
CISA邱理事長、JASPA吉弘副会長



参加者全員で記念写真

■ 石巻から1,000名のITエンジニアを生み出す『石巻ハッカソン』に協力

7月28日(金)～30日(日)の3日間、宮城県石巻市にて「石巻ハッカソン2017」が開催されました。石巻ハッカソンは、チーム別にテーマに沿ったアプリを3日間で作る開発イベントで、今回のテーマは、「ひみつ道具」でした。

本イベントは、アプリ開発を通して若者がITに興味をもったり、自分の夢を持つきっかけになってほしいとの想いから、2012年から毎年開催されています。最大の特徴は、小～大学生の若者と、現役のエンジニアやデザイナーと一緒にチームを組む点にあり、若者はプロのもののづくりを間近で体験し、大人は希望溢れる若者に初心を思い出されるという点です。

JASPAからは、東京システムハウス株式会社、アスノシステム株式会社、株式会社イー・アール・シー、株式会社サンシステムの他、団体として、JASPA、KT-NETがスポンサーとして協力しました。

もともと、3.11東日本大震災の復興が契機のハッカソンですが、若手参加者を中心に既に未来への前進モードで熱気を帯びています。今回の優勝チーム「for fools」は石巻工業高校の現役高校生チームで、在籍する高校を舞台にしたホラーゲームを製作しました。「石巻から1,000名のITエンジニアを生み出す」という主催者の目標も現実味を帯びてきています。各参加者は、ハッカソン部門参加の若手からカレー班のベテラン層まで、それぞれの関わり方で刺激と社会貢献活動に従事する喜びを感じていました。特にハッカソン参加者は短期決戦のなかで自身のスキルや状況判断力の向上を目指す良い契機となったようです。



石巻ハッカソン集合写真



スポンサー代表の審査員



お手伝い部門カレー班

■ 奥多摩日本語学校を表敬訪問し、留学生と懇親を深めました

平成29年11月2日(木)、奥多摩の旧古里中学校に開設された奥多摩日本語学校をJASPAから13名が訪問し、スタッフ、留学生と懇親を深めてきました。現在の留学生の内訳は、インドネシアから6名、フィリピンから3名、ベトナムから1名の合計10名で、皆さん、日本での就職を希望する20代の若者たちです。

奥多摩日本語学校は、以下3つの目標を掲げて設立されました。

- ・ITエンジニアとして日本の企業に就職すること
- ・ビジネスで使えるレベルの日本語力を身につけること
- ・奥多摩町の地域創生に寄与すること

現在、第1学期の半ばまで来ており、各留学生の12月末までの目標は、IT技術を使った奥多摩町のためのサービスのプロトタイプを考え、そのアイデアをプレゼンすることだそうです。人材不足が叫ばれる昨今、JASPAとしてもこのような取り組みに積極的に支援していければと考えております。



スタッフより説明を受けるJASPAメンバー



授業風景を見学



懇親バーベキューパーティ



参加者全員で集合写真

■ WCIT 台北 2017 に参加しました

平成29年9月10日(日)～13日(水)、台北で開催されたWCIT2017(World Congress on Information Technology)に、JASPAから吉弘京子副会長、林知之22世紀フォーラム会長をはじめ、29名が参加しました。WCITとは、これまででも多くの著名人がスピーチを行ってきた世界的なITフォーラムで、毎回持ち回りにより世界各地で開催されており、今回の台北の開催は21回目となります。

9月11日(月)のオープニングセレモニーでは、台湾大統領、台北市長などの要人をはじめ、中華民国情報サービス産業協会の理事長などが挨拶を行い、華々しく開催宣言が行われました。

9月12日(火)のGala Dinner & ICT Awardは、世界各国から約1000人が参加する大規模なパーティーであり、会場には、台湾人、日本人だけでなく、西洋人、民族衣装を着た方々など、世界各国の方が参加しており、世界規模の大会であることを実感することができました。食前に準備されたドリンクは、ワインの他はソフトドリンクが中心で、酒類はほとんどありませんでしたが、これはイスラム教の方々に配慮したものと思われます。

今回、日本人の講演者のひとり、NTTデータの代表取締役社長 岩本敏男氏の講演は、コンピュータが生まれてから現在までのCPUとデータストレージ、ネットワークの進歩の歴史で、特にここ数年の進歩は目覚ましいという内容でした。



オープニングセレモニーでの来賓の方々



Gala Dinnerにて、吉弘京子副会長、林知之22世紀フォーラム会長



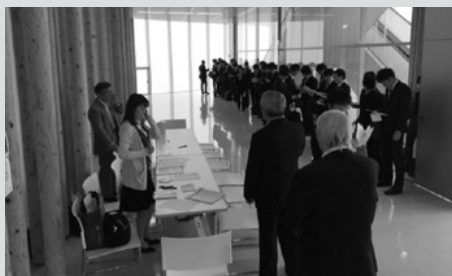
NTTデータ 代表取締役社長 岩本敏男氏

■ 情報技術企業合同説明会を開催しました 静岡県ソフトウェア事業協同組合

静岡県ソフトウェア事業協同組合では、2018年3月卒業予定者向けの情報技術企業合同説明会を開催しました。本説明会はIT業界をPRし、優秀な学生を確保することを目的に平成27年から開催しており、今年で3年目を迎えました。IT業界では慢性的な人材不足が共通課題となっており、この合同説明会を通じて組合員と学生のマッチングに成果をあげています。

合同説明会は、静岡会場で、5月8日(月)、6月19日(月)の2回、沼津会場で、5月9日(火)、6月13日(火)の2回、合計4回開催、組合から48社が参加し、毎回多くの学生が来場しました。

今回は、組合員と学生が自由に交流できるスペースを設置し、学生からの質問に対して、ひとつひとつ丁寧に答えることで、優秀な学生の確保に繋げる工夫をしました。



開場前から学生の行列



情報技術企業合同説明会風景

■ HISCO 第14回 IT経営改革フォーラムが開催されました

ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合主催「第14回 IT経営改革フォーラム」が開催されました。

開催日：2017年10月11日(水) 開催場所：グランフロント大阪 北館 タワーC 8F

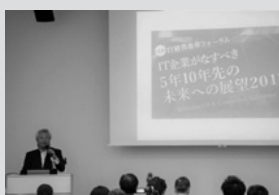
テーマ：「IT企業がなすべき5年、10年先の未来への展望2017」～ 続Society5.0・Connected Industries ～

主な講演は以下の通り

1. 『IoT、AI 時代におけるデータ活用社会のモデル構築』 総務省 情報流通行政局 情報流通振興課 課長 犬童 周作氏
2. 『超スマート社会の展望』 神戸大学大学院工学研究科 教授 塚本 昌彦氏
3. 『VR 仮想現実/AR 拡張現実/MR 複合現実による共感コンピューティング』
国際医療福祉大学大学院 准教授 HoloEyes(株) 取締役 COO 杉本 真樹氏

講演会260名、懇親会138名と関西を中心に九州、関東からも多くのお客様にご参加頂きました。当日、ご協力頂きましたスポンサー様のパネル展示・製品紹介等もご好評頂き、有意義な情報発信が出来たと思っております。また、体験ブース用として神戸大学様より、「Microsoft HoloLens」そして、NPO 法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構様より「Google Glass2」をご提供頂き、展示会場も盛り上がった事と存じます。

来年も「第15回 IT経営改革フォーラム」を開催致します。関西より日本全国へ向け、そして、世界に向けて新しい「IT経営改革」を発信するこのフォーラムに、一人でも多くの方々と一緒に出来よう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



開催の挨拶をするHISCO川井利通理事長



講演の様子



スポンサーの展示



懇親会、JASPA安延会長の挨拶

■ YRP情報産業協同組合 創立20周年記念 感謝の集いが開催されました

2017年11月20日、YRP情報産業協同組合の創立20周年を記念して、横須賀市内のホテルで感謝の集いを開催しました。この会には、横須賀市長他、地元関係者、共同受注のお客さま、JASPA並びに神奈川県との組合関係、地元マスコミの方々にご参加頂きました。

冒頭、主催者を代表として水野理事長から設立当時の状況、現在に至る当組合の歴史と支えて頂いている多くの皆様への謝意を伝えた後、上地横須賀市長、串間NTTテクノクロス代表取締役社長からご祝辞を頂き、安延JASPA会長の乾杯でスタートしました。

組合員を含めて90名のみなさまに出席いただき、食事をとりながらの歓談、並びにバイオリン、チェロ、ピアノの室内合奏などで、賑やかで和やかな時間を過ごすことができました。

最後に佐藤副理事長が閉会挨拶を行い、組合員が一体となって活動していく宣言と引き続きのご支援をお願いして、約2時間の感謝の集いパーティを終えました。



YRP情報産業協同組合 水野理事長



上地横須賀市長



安延JASPA会長



バイオリン、ピアノ、チェロ合奏

■ KT-NETフェスタが開催されました

賛助会員のKT-NET主催「KT-NETフェスタ2017秋 IoTとインバウンド」が開催されました。

開催日：2017年10月18日(水) 開催場所：東京都品川フロントビル

参加者：137社202名 協力：(株)KDDI総合研究所、全国ソフトウェア協同組合連合会

主な講演は以下の通り

- 1.『ヒトとIT“おもてなし”の分担は可能か?～現場取材で見える境界線～』
(株)プライダル産業新聞社 「国際ホテル旅館」編集長 米谷 美咲 氏
- 2.『翻訳タクシーの実証実験の紹介と地方創生』 株式会社KDDI総合研究所 行動言語プロジェクトリーダー 菅谷 史昭 氏
- 3.『食にまつわる顧客おもてなしサービス』
国内初の飲みニケーションロボットから、AIとロボット活用の人気ラーメン店での顔パスサービスまで
国際医療福祉大学大学院 准教授 HoloEyes(株) 取締役 COO 杉本 真樹氏
- 4.『日本初のスマート hostel』様々なIoTデバイスを一箇所に集結させ利活用した&AND HOSTELの取組とは
and factory株式会社 代表取締役CEO 小原 崇幹 氏

本イベントでは、毎回「IoT×現場課題(市場ニーズ)」の構成でテーマを企画しており、今回はインバウンドというキーワードで観光にスポットを当てました。ご参加いただいた皆様には、観光(主に宿泊業)という市場の特性や魅力を理解いただけると同時に既に実用に踏み切ったIoT先進事例からは刺激を受けていただけたものと思います。

引き続き、KT-NETの活動をご支援いただけますようお願いいたします。



講演の様子

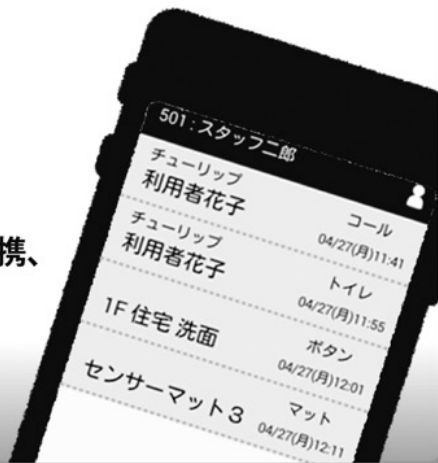
— 緊急コール対応から介護記録まで —
リンケア21 リンケアコール

■スマホ1台でいつでもどこでも
見守り & 緊急対応が可能

- ★画像と音声で安否確認ができる
- ★緊急度の高い順に適切に対応できる

■利用者対応、介護記録、ご家族との連携、
さまざまな面で圧倒的な使いやすさ

- ★通常の介護記録も同一スマホで対応できる
- ★内線・外線電話やドアホンの対応に使える



(株)システムツー・ワンは中央イメージテクノロジー研究開発協同組合 (JITRAD) の法人会員です。

株式会社エー・アール・シー

高品質なITソリューションをワンストップで

コンタクトセンター

運用・保守

勤怠管理システム

アプリケーション開発



Active
Restructuring
Company

ネットワーク・サーバ構築

ネットワーク工事・施工

オンサイト

キitting

<https://www.arcjp.com/>

・QMS,ISMS資格
・電気通信工事業
・JAPICOマーク

登録番号:JMAQA-S083、2348
東京都知事認可(般-17)第112889号
登録番号:JG12121300003

MISPA

宮城県ソフトウェア事業協同組合

組合企業の活性化と拡大

理事長 木村 裕

(有)キムラオフィス・コーポレーション
(株)PE-BANK
地球ソリューションズ(株)
(株)地域創造
(株)プロテウス
(株)エスクリュー
(株)イトナブ

木村 裕
猪又 正明
青木 雅秀
亀岡 幸康
中澤 貞憲
伊藤 正則
古山 隆幸

(株)エヌピーエス
(株)エー・アール・シー
東京システムハウス(株)
(株)トライコ
日本エス・ディー・エル(株)
(株)LUCKY ORANGE BOX

柴田 信幸
太田 貴之
林 知之
丹野 尚弘
伊藤 康典
館内 亨太



MCEAグループはITを取り巻く様々な環境変化と人々の価値観の多様化に的確に応え、グループの総合力で豊かな社会の創造に努めて参ります。

フリーランス
ITエンジニア
ブランド化
プラットフォーム
事業

システム・Web
インテグレーション
事業

PE-BANK

株式会社PE-BANK
<https://pe-bank.co.jp/>

全てはIT個人事業主
のために

PS-Provider
Personal Information & Security

株式会社PS-Provider
<https://ps-provider.co.jp/>

人と社会を繋ぐ安全で
快適なソリューション
を提供

個人情報管理
ソリューション事業

**MCEA
HOLDINGS**

株式会社MCEAホールディングス
<https://mcea-hld.jp/>

ASNO
SYSTEM INC.

アスノシステム株式会社
<http://www.asno-sys.co.jp/>

明日を創造する企業

流通総研

株式会社 流通戦略総合研究所
<http://ryutsu21.com/>

経営課題の解決を、
最適な形で
プロデュース

ビジネス戦略
ソリューション事業

eビジネス事業



株式会社MCEAホールディングス 〒108-0074 東京都港区高輪二丁目15番8号 グレイスピル泉岳寺前 TEL:03-6757-2090

About JASPA

全国ソフトウェア協同組合連合会の概要

「全国ソフトウェア協同組合連合会」は、
中小企業等協同組合法第27条の2の第4項に基づき、
1996年1月25日に通商産業大臣より設立許可(7機第1480号)を得て、
1996年2月20日に設立し、20年以上の実績を持つ中小企業の為の組織です。
地域を超えた交流、最先端の技術やサービスについて共同研修、情報共有、
さらにIT業界の発展の為の政界、官界、業界団体との情報交換や提言など、
若手経営者を中心に取り組んでいます。
2018年1月現在の会員数は15組合、8団体。



北海道ソフトウェア事業協同組合
宮城県ソフトウェア事業協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
ソフトウェア事業協同組合
中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合

K T - N E T

一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
一般社団法人ITキャリア推進協会

青森県ソフトウェア協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
グリーンIT協同組合
電算ソフトウェア協同組合
Y R P 情報産業協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
広島県西部情報サービス協同組合

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

全国ソフトウェア協同組合連合会(略称：JASPA)は、中小のソフトウェア業の発展のために通商産業(現経済産業)大臣より設立認可を得て、1996年2月20日に設立し、今年で22年を迎えました。

現在の会員数は北海道から沖縄までの15組合(会員企業約300社)および賛助会員8団体を有する全国NETの組織に拡大、発展しました。

<概要>

名 称	全国ソフトウェア協同組合連合会 (JASPA : Japan Software Party Association)
所 在 地	〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号 グレイスビル泉岳寺前
設 立	平成8年2月
経済産業省認可	7機第1480号
出 資 金	3,600千円(1口50,000円)
加 入 団 体	全国中小企業団体中央会 一般社団法人情報サービス産業協会 一般社団法人全国地域情報産業団体連合会 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 特定非営利活動法人日本情報技術取引所 一般社団法人日本IT団体連盟 一般社団法人日本テレワーク協会 一般社団法人テレコムサービス協会 一般社団法人日本個人情報管理協会 一般社団法人ITキャリア推進協会 地域活性学会

事業内容

Description of Business

当連合会は、各地の組合が取り組む「共同受注」「共同研修」「技術者と仕事のマッチング」などのノウハウの交換、さらに連合会の主催による「海外事情の視察」や「海外企業とのビジネス交流会」「有力情報通信技術研究機関との先端技術情報研究会」「政界、官庁、業界幹部をお招きする交歓会」「経済産業省幹部との意見交換会」などを実施し、成果をあげつつあります。各組合およびその加盟企業と連携して、ソフトウェア業界の活性化と会員組合および加盟企業の発展につくしております。

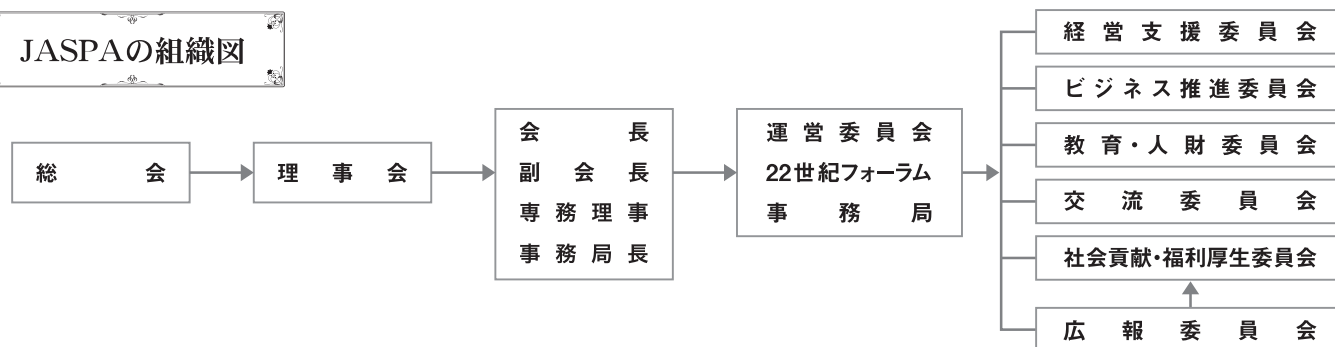
役員

※2018年1月現在

Board of directors

会 長	安延 申	(首都圏ソフトウェア協同組合 理事長)
副 会 長	吉弘 京子	(ソフトウェア事業協同組合 副理事長)
副 会 長	太田 貴之	(宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事)
専務理事	川井 利通	(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事長)
理事・名誉会長	中島 洋	(首都圏ソフトウェア協同組合 理事)
理 事	朝倉 幹雄	(北海道ソフトウェア事業協同組合 理事長)
理 事	木村 裕	(宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事長)
理 事	平川 学	(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合 理事長)
理 事	安齋 輝雄	(電算ソフトウェア協同組合 理事長)
理 事	成川 秀樹	(静岡県ソフトウェア事業協同組合 理事長)
監 事	林 知之	(埼玉ソフトウェア事業協同組合 理事長)
監 事	幸地 長秀	(沖縄県ソフトウェア事業協同組合 理事長)
参 事	長内 睦郎	(青森県ソフトウェア協同組合 理事長)
参 事	青谷 哲也	(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事)
事務局長	横尾 良明	(首都圏ソフトウェア協同組合 最高顧問)
最高顧問	向 浩一	(ハイテクノロジー・ソフトウェア協同組合 相談役)
顧 問	木村 俊昭	(地域活性学会 理事)
顧 問	岡積 正夫	(グリーンIT 協同組合 理事)
顧 問	石井 一二	(首都圏ソフトウェア協同組合 顧問)
顧 問	石渡 辰夫	(静岡県ソフトウェア事業協同組合 理事)

JASPAの組織図



JASPA専任委員会の紹介

(全国ソフトウェア協同組合連合会)

連合会の社会貢献活動および会員の為に必要な共同事業や
会員の経済活動を支援するための専任委員会の概要、目的と具体的な活動を紹介します。

JASPA 22世紀フォーラム

概要・目的

JASPAの理念を継承し、更なる発展成長を目的とした若手経営者を中心の組織で、2014年より本格的活動を開始した。

【JASPA 理念】・技術力や経営基盤の強化 ・社会的信頼の向上 ・情報社会の発展に貢献

活動内容

22世紀フォーラムを構成する各委員会の活動支援及び、22世紀フォーラム全体の運営及び事務局を担当する。

メンバー

2018年1月現在

名 前	所 属 委 員 会	主 な 所 属 組 合／組 織
林 知之	会長／交流委員長／ビジネス	埼玉ソフトウェア事業協同組合
青谷 哲也	副会長／経営支援	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
太田 貴之	副会長／教育・人財委員長／福利厚生	宮城県ソフトウェア事業協同組合
守田 徹	顧問／広報委員長	グリーンIT協同組合
石井 雄二	幹事／ビジネス委員長	K T-N E T
塚本 学	幹事／経営支援委員長	首都圏ソフトウェア協同組合
櫻井 多佳子	幹事／福利厚生委員長	首都圏ソフトウェア協同組合
河原 健光	交流副委員長、ビジネス	北海道ソフトウェア事業協同組合
波佐 満成	ビジネス	北海道ソフトウェア事業協同組合
池田 孝博	経営支援	北海道ソフトウェア事業協同組合
小山 守	ビジネス	宮城県ソフトウェア事業協同組合
重富 良平	教育・人財	宮城県ソフトウェア事業協同組合
丹野 尚弘	交流	宮城県ソフトウェア事業協同組合
堀 明子	経営支援	埼玉ソフトウェア事業協同組合
原口 一孝	広報	埼玉ソフトウェア事業協同組合
砂田 剛	交流	埼玉ソフトウェア事業協同組合
郡司 良男	経営支援副委員長／教育・人財	首都圏ソフトウェア協同組合
神崎 浩二	経営支援	首都圏ソフトウェア協同組合
伊与 徹也	ビジネス／広報	首都圏ソフトウェア協同組合
田井中 友香	広報副委員長／福利厚生	首都圏ソフトウェア協同組合
中島 啓吾	福利厚生	首都圏ソフトウェア協同組合
鈴木 勝博	教育・人財副委員長	首都圏ソフトウェア協同組合
福原 智	教育・人財	首都圏ソフトウェア協同組合
通事 政章	交流	首都圏ソフトウェア協同組合
堀越 正	経営支援	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
平川 学	ビジネス	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
飯嶋 隆人	ビジネス	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
山藤 武志	広報	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
安齋 輝雄	ビジネス	電算ソフトウェア協同組合
小口 日出彦	交流	グリーンIT協同組合
實石 貴久	交流	静岡県ソフトウェア事業協同組合
奥出 邦且	ビジネス副委員長／交流	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
伊集院 一人	ビジネス	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
高畑 道子	福利厚生副委員長	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
近森 満	経営支援／教育・人財	K T-N E T
古賀 欣治	教育・人財／交流	K T-N E T
蕭 烟森	交流	K T-N E T
明神 浩	交流	テレコムサービス協会

経営支援委員会

概要・目的 JASPA 参加組合会員各企業の経営に役に立つ情報を提供し、メリットを提供することを主たる目的とする。

活動内容 (1) 助成金獲得ノウハウ共有 (2) 資金繰りノウハウ共有
(3) 各士業(弁護士、医師、税理士など)協会との連携を強化し、中小企業経営に有意義な関係を作る。
(4) オフショア・ニアショア開設支援及び業者紹介 (5) 内部統制対策支援
(6) 事業継承相談 (7) その他の経営相談

メンバー 委員長：塚本 学(首都圏ソフトウェア協同組合)
副委員長：郡司 良男(首都圏ソフトウェア協同組合、埼玉ソフトウェア事業協同組合)
池田 孝博(北海道ソフトウェア事業協同組合)
堀 明子(埼玉ソフトウェア事業協同組合)
神崎 浩二(首都圏ソフトウェア協同組合)
堀越 正(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
青谷 哲也(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
近森 満(KT-NET)

ビジネス推進委員会

概要・目的 JASPA 参加組合の各会員企業に対してビジネス事業を助力・促進することを目指し、商品・人材・案件・購買等のビジネスに関わる情報を会員と共有し、相互に利用できる機会や、その仕組みとノウハウを提供する。

活動内容 (1) 会員企業情報の共有と企業情報公開(公開ページの新設)
(2) 会員企業の製品・商材・ソリューションの共有とビジネスコラボレーション
(3) 先端技術共有とサイバーセキュリティ教育(KDDI 総合研究所、I o T 塾 / 検定、ITキャリア推進協会など)
(4) JASPA フェア・展示会・セミナー企画と運営
(5) JASPA ビジネスマッチング会の企画と開催(JASPA 全国組合との連携)
(6) 営業情報・案件情報の共有と受注支援

メンバー 委員長：石井 雄二(KT-NET)
副委員長：奥出 邦且(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
委員：波佐 満成(北海道ソフトウェア事業協同組合)
河原 健光(北海道ソフトウェア事業協同組合)
小山 守(宮城県ソフトウェア事業協同組合、電算ソフトウェア協同組合)
林 知之(埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET)
伊与 徹也(首都圏ソフトウェア協同組合)
平川 学(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
飯嶋 隆人(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
安齋 輝雄(電算ソフトウェア協同組合)
伊集院 一人(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

教育・人財委員会

概要・目的 JASPA 参加組合の会員企業に対して、社員教育を通じて人財育成に寄与する。また行政機関や他団体との連携を図り、わが国の I T リテラシーや I T 教育の質を向上するべく活動を行う。

活動内容 (1) J A S P A オリジナルの教育カリキュラム構築 (2) セミナー、講習会、研修会の企画・開催
(3) 行政機関、他団体との情報連携

メンバー 委員長：太田 貴之(宮城県ソフトウェア事業協同組合、電算ソフトウェア協同組合)
副委員長：鈴木 勝博(首都圏ソフトウェア協同組合)
重富 良平(宮城県ソフトウェア事業協同組合)
郡司 良男(首都圏ソフトウェア協同組合、埼玉ソフトウェア事業協同組合)
福原 智(首都圏ソフトウェア協同組合)
古賀 欣治(KT-NET)
近森 満(KT-NET)

社会貢献・福利厚生委員会

概要・目的 組合企業の一人一人が、すこやかに仕事ができる環境を提供することで、各組合の活性化を支援する。各地域に存在する組合のネットワークを駆使し、ITを通じて社会への貢献を目指す。

活動内容 (1) 障害者雇用、障害者協会などへの仕事の依頼
(2) シニア技術者への雇用機会拡大、女性のワークバランスの見直しなどの強化
(3) JASPA 共済 (4) 災害時の募金活動 (5) その他、年金、健保、など福利厚生の強化

メンバー 委員長：櫻井 多佳子(首都圏ソフトウェア協同組合)
副委員長：高畑 道子(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
太田 貴之(宮城県ソフトウェア事業協同組合、電算ソフトウェア協同組合)
田井中 友香(首都圏ソフトウェア協同組合)
中島 啓吾(首都圏ソフトウェア協同組合)

交流委員会

概要・目的 会員組合間の交流や会員組合傘下企業の経営者・社員間の交流、また政府・官公庁や他協会・海外企業との交流を通して、会員組合への情報提供や組合活動の活性化を支援する。

活動内容 (1) 会員交流の企画、開催 (2) 政府・官公庁との交流 (3) 他協会との交流 (4) 海外企業・団体との交流

メンバー 委員長：林 知之(埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET)
副委員長：河原 健光(北海道ソフトウェア事業協同組合)
丹野 尚弘(宮城県ソフトウェア事業協同組合)
砂田 剛(埼玉ソフトウェア事業協同組合)
通事 政章(首都圏ソフトウェア協同組合)
小口 日出彦(グリーンIT協同組合)
實石 貴久(静岡県ソフトウェア事業協同組合)
奥出 邦且(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
古賀 欣治(KT-NET)
蕭 炯森(KT-NET)
明神 浩(テレコムサービス協会)

広報委員会

概要・目的 ①連合会の意義、活動を広く内外に報じて認知、理解を計り社会、業界の発展に貢献する。
②会員組合および加盟組織間の意思の疎通と情報の共有を促進し会員組織の事業の活性化を促す。
③広報媒体を活用して加盟会員の業務、ソリューションを広報し、会員企業の発展を支援する。

活動内容 (1) 会報誌、WEB会報誌(HP)、メールニュースなどにより連合会の目的、活動を広報し認知度を上げ信頼を得て業界の発展に尽くす。
(2) 連合会の会員特典の認知や会員間の情報の共有によりコミュニケーションの促進と会員の発展に寄与する。
(3) 広報メディア(3媒体)による連合会、各専任委員会のイベント(賀詞交歓会、JASPA フェア、総会、セミナーなど)の開催告知や集客、広報。
(4) マスメディアを通じて連合会の活動をリリースして存在の認知と理解を計る。
(5) 連合会会員の特典(JASPA 共済、JAPICO・個人情報保護認証、WEB会議システム・GCgate)の認知、販促広報。
(6) 加盟会員の企業情報およびソリューション情報の収集、データベース化を促進して会員間の協業や販促活動に活用する。

メンバー 委員長：守田 徹(グリーンIT協同組合)
副委員長：田井中友香(首都圏ソフトウェア協同組合)
委員：山藤 武志(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
伊与 徹也(首都圏ソフトウェア協同組合)
原口 一孝(KT-NET)

- ①経済産業省の認可団体である全国ソフトウェア協同組合連合会(略称・JASPA)は経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課、情報産業課など官庁との情報交換や政策提言が出来る。
- ②当連合会が全国各地で開催する運営委員会(月例)にて全国各地の業界情報、案件情報などの情報共有ができる。
- ③加盟組合、協賛団体に所属する企業間による情報交換、共同受注、共同開発などアライアンスを組むことができる。
- ④当連合会が主催する「海外視察ツアー、海外企業とのビジネス交流会」や「講演会、研修セミナー」などに参加できる。
- ⑤日本 IT 団体連盟(約 5000 社参加)の発起団体である JASPA に加入することにより日本 IT 団体連盟に加入できる。
- ⑥各専任委員会(経営支援、ビジネス推進、教育・人財、社会貢献・福利厚生、交流、広報)が提供する企業経営に必要な様々なサービス・メニューを利用できる。

【経営支援】

連合会の各組合、加盟企業などの経営情報やネットワークを利用して会員企業への経営に役に立つ情報を提供し、それぞれの経営課題(事業資金、営業、業務管理)などをサポートする。

- ①新銀行東京との JASPA 専用の融資制度を利用できる。
- ②AIU の「集団扱契約」による JASPA 専用の制度を利用できる。
- ③各大学との共同企業説明会の誘致を行う。
- ④ビジネスモデルコンテスト等の企画及び提携を行う。

【ビジネス推進】

ビジネス事業を助力・促進することを目指し、商品・人材・案件・購買等とビジネスに関わる情報を共有し、相互に利用できる機会とノウハウを提供する。

- ①会員の製品(Web 会議システム GC-gate など)や、各会員のソリューション製品など、特別価格で利用できる。
- ②JASPA フェア、KT-NET フェスタなど全国組合のセミナーへ無料で参加できる。
- ③CSAJ/JASPA/JIET 共催のビジネスマッチング会に参加できる。(2 回 / 年)
明日にでも受注可能な JASPA 内ビジネスマッチング会(企画中)へも参加できる。
- ④民間情報サービスを利用した入札情報の提供や共同受注に参画できる。(複数社共有利用)
- ⑤KDDI 総合研究所からの先端技術情報の提供やセミナーに参加できる。(2 ~ 3 回 / 年)
- ⑥IoT 技術習得のための入塾や IoT 検定試験、セキュリティエンジニア講座などを割引で受験できる。
- ⑦ICT ビジネスモデル発見&発表会へのエントリーや全国大会を傍聴参加できる。
- ⑧会員情報・案件情報の共有と情報公開を行うことができ、ソリューションや製品の検索ツールを利用できる。

【交流、渉外促進】

JASPA 内外との交流を図ることで参画組合各社に有用な情報を提供する。

- ①「若手社員交流会」などの社員交流会に参加できる。
- ②各地域で開催される運営委員会での情報交流会に参加できる。
- ③官公庁との情報交流会に参加できる。
- ④海外視察会(日台ソフトウェア企業交流商談会、コードバリなど)に参加できる。

【教育・人財育成】

- ①JASPA の共同求人活動に参加することで、リーズナブルなコストで優秀な人財の確保ができる。
*各学校(帝京大学、東京電機大学、HAL 東京、電子専門学校)での合同企業説明会。
*企業見学ツアーへの参加。
*学生・求職者を対象にした「共同求人」イベントの企画・開催・運営。
*厚生労働省をはじめとした各地方行政機関とのネットワーク構築。
*ソーシャル・ネットワークを活用した求人活動の研究開発。
- ②共同研修活動に参加することで、リーズナブルなコストで優秀な人財の育成ができる。
*JASPA 賀詞交歓会、JASPA フェア及び加盟団体が実施する研修セミナーへの参加。
*組合内の協働関係を活かした人財育成・開発活動。
*組合内共同研修活動。(内定者研修・新人研修・階層別研修・幹部社員研修、等々)
*後継者育成・登用制度(サクセッションプログラム)の研究開発・構築活動。
*在宅ワーク・テレワーク・クラウドソーシング環境における人財育成・開発活動。

【社会貢献・福利厚生】

組合企業の福利厚生面での施策などの指導、支援。組合企業の一人一人が、すこやかに仕事出来る環境を提供することで、各組合の健全な発展をサポートする。さらに業界の代表的な団体として組合のネットワークを駆使し、IT を通じて社会への貢献を目指す。

- ①社会福祉法人「レンコンの会」にて、パソコン・小型家電などの破碎作業依頼に参画できる。
- ②シニア技術者への雇用機会の拡大、女性のワークバランスの見直しなどの強化を行う。
- ③メンタルヘルスケア(障害者雇用セミナーなどの開催)に参加できる。
- ④連合会独自の共済制度(JASPA 共済)を利用できる。
- ⑤CSAJ、テレワーク協会と合同で開催するテレワークセミナーに参加できる。
- ⑥JASPA を通じて、災害時の募金活動に、参加できる。

【広報・宣伝】

会員は連合会の広報・広告媒体(会報誌、Web 会報ホームページ)などを利用して所属組合や自社のソリューション広告、販促ができる。会員組合および加盟組織間の意思の疎通と情報の共有を促進し会員組織の事業の活性化を促す。

- ①加盟組合、企業の業務内容、技術、サービスを広報し認知度を上げ信頼を得て企業経営の活性化を図る。
- ②会報誌、WEB 会報誌(HP)、メールニュースにより会員企業の事業案内、ソフトウェア、案件獲得などに活用する。
- ③会報誌、WEB 会報誌(HP)、メールニュースにより会員企業の開催するセミナーやイベントの告知、集客に利用する。
- ④連合会の広告媒体(会報誌、WEB 会報誌)に広告掲載(有料)することにより全国の各組合、加盟企業や関係団体、官公庁への広告・販促が期待できる。

連合会の活動実績

Achievements



賀詞交歓会及び特別講演会
毎年1月に、賀詞交歓会及び特別講演会を盛大に開催しています。



運営委員会及び懇親会
12月を除く毎月、各会員組合主催により、全国各地で運営委員会（理事会）及び懇親会を開催しています。



懇親スポーツ大会
運営委員会の翌日に、参加者の懇親を目的としたスポーツ大会を開催しています。



JASPA コラボレーションフェア
毎年5月に、JASPA コラボレーションフェアを開催しています。毎回、ホットなテーマによる講演、会員各社の展示コーナーなど、内容も盛りだくさんです。



通常総会
毎年5月に、通常総会を開催しています。



海外交流
台湾で開催される日台ソフトウェア企業交流商談会など、積極的に海外イベントにも参加しています。



経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長との座談会
毎年10月に、経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課長をお招きし、経済産業省の重点テーマ或いは、ソフトウェア産業が抱える諸問題について議論を交わしています。



各種社会貢献活動
災害時の募金活動、東北・熊本被災地訪問、障がい者支援を目的とした社会福祉団体への協力等、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

JASPA 会員組合

北海道ソフトウェア事業協同組合
青森県ソフトウェア協同組合
宮城県ソフトウェア事業協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
グリーン IT 協同組合
ソフトウェア事業協同組合
電算ソフトウェア協同組合
中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
YRP 情報産業協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
広島県西部情報サービス協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合
(賛助会員)
KT-NET
一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
一般社団法人 IT キャリア推進協会
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

Member Organizations

理 事 長	朝 倉 幹 雄
理 事 長	長 内 睦 郎
理 事 長	木 村 裕
理 事 長	林 知 之
理 事 長	安 延 申
理 事 長	守 田 徹
理 事 長	磯 崎 澄
理 事 長	安 齋 輝 雄
理 事 長	平 川 学
理 事 長	水 野 堅 市
理 事 長	成 川 秀 樹
理 事 長	川 井 利 通
理 事 長	角 谷 幸 夫
理 事 長	岩 山 明 憲
理 事 長	幸 地 長 秀
会 長	滝 嶋 康 弘
会 長	長 谷 川 亘
会 長	是 枝 伸 彦
理 事 長	中 島 洋
会 長	安 田 浩
会 長	荻 原 紀 男
理 事 長	大 和 田 博 道
理 事 長	酒 井 雅 美



※都営地下鉄浅草線「泉岳寺駅」すぐ。

JASPA

■事務局所在地

〒108-0074 東京都港区高輪 2 丁目 15 番 8 号 グレイスビル泉岳寺前

TEL : 03-3473-9822 FAX : 03-5798-7589

E-mail : jaspajimu@jaspanet.or.jp

JASPAのご入会・お問い合わせは、こちらへお願いします。

小さな大企業

「北限の地、青森からダイヤモンドの様に光輝く企業」を目指します



- 看護業務支援システム
ナース物語 オフィス EX
- 医療安全支援システム
ナース物語 セーフティ
- 医材マネジメントシステム
ナース物語 サプライ
- 勤務表作成支援システム
ナース物語 ナイスプラン II
- 血糖値管理システム
ナース物語 SMBG
- リハビリ業務支援システム
リハ物語 POST
- 物流管理システム
サプライ物語

おまかせバックアップサービス



看護師向けの業務ソフト「ナース物語」シリーズを自社で開発、販売、導入（構築）、保守を一貫して実施しており、全国47都道府県の病院様で使用していただいております。

看護師向け以外でも「リハ物語」（理学療法士向け）、「サプライ物語」（SPD 担当者向け）等を商品として販売し、医療分野でのソフトウェア開発、販売をしております。

他に、民間各種企業や自治体へハードウェア販売 / ソフトウェア製造、バックアップサービス、講習会やクラウドサービス活用セミナー開催等、幅広いサービスを提供しております。



MCS マルマンコンピュータサービス株式会社

本社：〒036-8051 青森県弘前市大字宮川 3-5-2
TEL 0172-33-5166 FAX 0172-36-3362

東京：〒110-0016 東京都台東区台東 2-9-4
明治安田生命秋葉原昭和通りビル 10F
TEL 03-3839-3395 FAX 03-3839-3396
URL：http://www.mcs-kk.co.jp

PCワークステーションで実現できる課金業務効率化の切り札！

ビル課金管理システム B1-PC

パソコンでテナント向け個別請求業務処理が可能



エコモニターシステム

ECO MONITOR SYSTEM for Energy Save

電力削減をシステムで
ご支援します。



NSS 日本システムスタディ株式会社

創業1976年（問い合わせ担当）営業部

info2@nss-net.co.jp

http://www.nss-net.co.jp TEL 092-262-4001 FAX 092-262-4003

〒812-0037
福岡市博多区御供所町1-1
西鉄祇園ビル9F



お客様のためのITサービスカンパニー

ITサービスを通じ

お客様の課題を迅速に解決します

システム開発を自動化！
超高速開発ツール

Wagby

ゴルフに関する
楽しいイベント情報満載！

Golferweb

品質情報管理のつかえる、
つながる、つきあえる実現！

TOREPAS

マイグレーションの
パイオニア

MMS
Mainframe Migration Service

〔関西〕

〒650-0012
兵庫県神戸市中央区
北長狭通 4-9-26
西北神ビル 9 階
TEL:078-325-1461

〔本社〕

〒141-0031
東京都品川区西五反田
7-1-10
ユーズワンビル
TEL:03-3493-4601

JASPA会員組合の紹介コーナー

NEWS

東西南北レポート

北は北海道、南は沖縄まで全国に広がる
JASPA会員をご紹介します



北海道ソフトウェア事業協同組合

理事長 朝倉 幹雄

我々会員企業は、北海道という地の利と豊富で優秀な人材、そして、あらゆる要求品質に答えてお客様の満足度向上に貢献します。北の大地はソフトウェア開発アイランド。既存ビジネスの拡大と新規ビジネスの開拓に積極的に取り組んで会員企業相互の発展を目指しております。

会員企業	(株)アイティエス札幌事業所	(株)ヴァックスラボ
	(株)エクサネットHAL	SOC(株)
	SOC総研(株)	SOCパートナーズ(株)
	(株)シーエスアイ	システムデザイン開発(株)
	日本SE(株)北海道支店	(株)パブリックリレーションズ
	(株)メディア・マジック	

理事長 朝倉 幹雄

副理事長 佐藤光一、杉本恵昭

理事 石渡辰夫、菅野 満、里見英樹

監事 古谷雅代、波佐満成 事務局長 越智清雄

住所 〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1-1-12 SOC本社ビル内
TEL 011-899-6211 FAX 011-899-6212
URL <http://www.socnet.jp/hsc>

青森県ソフトウェア協同組合概要

このたび「青森県ソフトウェア協同組合」を設立し、コンピュータシステムの開発・作成等の共同受注による新規顧客、大口顧客の開拓を行うことで、組合員各社の収益アップを目指し、また、新しい技術・研究開発および教育・情報提供事業を行い、日々変化する業界の最新動向を組合員各社に提供し、正しい動向判断による競争力強化を図ることを目標といたします。

■青森県ソフトウェア協同組合員紹介

理事長	長内 睦郎	(マルマンコンピュータサービス株式会社 代表取締役)
		http://www.mcs-kk.co.jp/
副理事長	三浦 克之	(株式会社サン・コンピュータ 代表取締役)
		http://www.sancom.co.jp/
理 事	鈴木 敏弘	(株式会社テラソリューション 代表取締役)
		http://www.terasol.co.jp/
監 事	山口 勝久	(株式会社アイシーシーコンピューターシステム 取締役)
		http://www.webicc.co.jp/
	柳谷 章二	(青森情報システム株式会社 代表取締役)
		http://www.ais-inc.co.jp/
	三浦 武	(株式会社ブルーマウステクノロジー 代表取締役)
		http://www.ozupad.com/
	齋藤 勲	(株式会社パッション 代表取締役)
		http://www.passion-s.jp/

宮城県ソフトウェア事業協同組合

理事長 木村 裕

☆MISPA 事業内容☆

- 共同受注
- 共同販売
- 共同研究・開発
- 情報交流
- 各種イベント・行事等

組合活動の拡大に伴い活動の多様性を目指します

宮城県は東北の他の県との比較では経済環境が恵まれています。IT 関連に目を転じると多少はという事ですが、震災復興の土木・建築事業の盛んなうちに、当組合は JASPA を初めとし、他の団体との連携・協同事業への取り組みを推進し、新たに加入した組合員に魅力あるユニークな活動を通して、更なる組合員拡大に繋げます。又、こういった他の団体・地域との事業展開を基に、組合の活性化を図り、協同販売・協同開発を進めるビジネスチャンスを創出し、実績を上げることを目指しております。

理事長 木村 裕 専務理事 柴田信幸 理事 猪又正明／太田貴之／青木雅秀／亀岡幸康 監事 林知之

☆会員数は賛助会員、特別会員を含め13社です☆

住所：宮城県仙台市青葉区二日町2-1 キムラオフィスビル4階

TEL:022-261-0156 FAX:022-261-0165 E-MAIL:formmail@mispa.ecweb.jp

S.A.I.Tama

埼玉ソフトウェア事業協同組合

組合員相互・関連団体との連携を深め、
事業所間で交流が生まれるよう諸活動を行ってまいります。

代表理事 林 知之

アスノシステム(株)	(株)RJC	(株)MCEAホールディングス
埼玉田中電気(株)	(株)シアンス・アール	(株)東栄コンサルティング
東京システムハウス(株)	(株)PE-BANK	(株)ファーストステージ
(株)ユニケソフトウェアリサーチ	堀明子司法書士事務所	

(事務局) 108-0074東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前 電話:03-3473-9822



中央イメージテクノロジー研究開発協同組合

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-21-7 住友不動産池袋西口ビル5階

URL <http://www.jitrad.com> TEL 03-6907-0751

理事長 平川 学

当組合の特徴は、確かな技術力のみならず、バラエティかつ個性的な会社により構成されているところにあります。

OA分野における通信、インターネットを利用したシステム構築から制御系分野、ファシリティサービス、画像処理システム開発、さらにはゲーム、スマートフォンやタブレット向けのコンテンツ制作、福祉関連事業など、それぞれが技術の特化と幅広い分野への成長を心がけ、良質なソフトウェアプロダクトの提供を中心に事業展開しております。

ー 組合員 ー

- ・(株)アーベルソフト
- ・(株)エヌ・アイ・エス
- ・(株)マイクロ・テクニカ
- ・(株)ラデックス
- ・(株)システム ツー・ワン
- ・(株)スティング
- ・(株)ユーソフト
- ・(株)Doing

- ・(株)新華コンサルティング
- ・ニチカイ株式会社
- ・(株)マトリックス
- ・(株)メディア・マジック
- ・ホットウェブ(株)
- ・(株)システムフォース
- ・(株)クリエイティブエンジニアリング
- ・(株)LSC
- ・中央コンピューターサービス(株)

ー 顧問 ー

- ・桜木町法律事務所
- ・大村労務法制事務所
- ・山下税理士事務所
- ・発明プロデュース協会
- ・近藤司法書士事務所
- ・一般社団法人UBA
- ・大連穀信グループ

首都圏ソフトウェア協同組合

ダイレクト商談会で広がる METSAの共同受注ネットワーク

活発な情報交換の中から組合員のビジネス機会を創出します。

当組合では (1)毎週水曜開催ダイレクト商談会 (2)官公需の共同受注 (3)共同求人研修事業 (4)研究会 (5)毎月の協議会・交流会、等を通じて組合員の受注機会の増進を図り、豊かなソフトウェア産業を実現します。

代表理事 安延 申／理事 齋藤 光仁／中島 洋／小池 保典／福原 智／田井中 友香／石川 圭相／監事 樽屋 有美子

住所：〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番地8号 グレイスビル泉岳寺前

TEL:03-3473-9822 FAX:03-3446-4180 E-MAIL:metsa_info@jaspanet.or.jp

URL:<http://www.syutoken.or.jp/>



経営課題を解決する グリーンITのコンサルティングサービス

①ITシステムの最適化 ②EC（電子商取引）の活用 ③ロジスティックシステムの共有とアウトソーシング化
④企業統合、M&A ⑤人材の再生、再活用と最適な流動化 ⑥人材の教育、研修 ⑦マーケティング戦略
などの経営診断を通し問題解決のためのアドバイス、セミナーおよびコンサルティング等により企業の発展をサポート
します。なんなりとご相談ください。

グリーンIT協同組合

所在地 〒108-0074 東京都港区高輪 2-15-8 グレイスビル泉岳寺前7F TEL 03-3473-9774 FAX 03-3473-9825

組合員 理事長 守田 徹／理事 岡積正夫／理事 藤野宣明／理事 小口 日出彦／監事 粕谷義和／顧問 北島一雄
伊藤哲男／斉藤貴加年／鈴木陽一／事務局 小倉治雄

URL <http://www.green-it.or.jp>



ソフトウェア事業協同組合

理事長 磯崎 澄

"クラウドサービスソリューション"と "ポストSIビジネスソリューション"の 協同提供を

お客様の優良ビジネスパートナーとして
クラウド時代／ポストSIビジネス時代に相応しい
高付加価値サービスや開発自動化などを研究会で検討し
協同提供を推進してまいります



(株) ユー・エス・イー
(株) ユー・エス・イー ビジネスソリューション
(株) ユー・エス・イー コート
(株) アイ・ジー・スクウェア
(株) アイ システムサービス

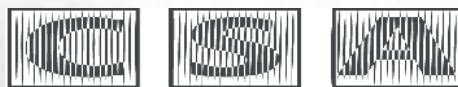
Fullon(株)
ミキシシステム(株)
サイバーグリーンシステム(有)
(株) ハイエレコン 東京本社
北陸電話工事(株) 東京支店



東京都渋谷区恵比寿3-1-7 タマビル恵比寿7F tel 03-5449-2761 fax 03-5475-8679 URL <http://www.sba-jaspa.jp>

明るい未来を創るCSA

インドコスモ
Systems Pvt. Ltd.
(株) エー・アール・シー
(株) エムツーエム
カスタマシステム(株)
京通(株)
(株) スマック
(株) セル
日本システムクリエイティブ(株)
(株) 日本システムコンサルタント
(株) 日本ソフトウェアテクノロジー
(株) 日本テクノウェア
(株) ハツコーエレクトロニクス
北斗ビジネスソフト(株)



電算ソフトウェア協同組合

理事長 安齋輝雄

(事務局) 東京都港区芝3-3-13 芝服部ビル TEL・FAX 03-3451-5055

YRP情報産業協同組合

当組合は、移動無線通信・情報通信技術を中心とした研究開発拠点であるYRP(横須賀リサーチパーク)の開設に先立つ1997年4月に設立されました。①共同受注、②技術者の育成支援、③経営改善に関する情報提供の3つを柱に、20年を越えて活動し、現在は神奈川県、東京都の17社の企業がメンバーです。

共同受注を通して組合員のビジネス機会を増強し、実績を積み重ねていくことで、組合員及び組合の価値を高めていきます。地元横須賀市などとの連携を密にし、地域活性化への貢献、及び組合員の技術力・人間力をアップする研修を企画し、人材育成を支援しています。

<組合員>

サイカヤ・システム・テクノロジー(株)	(株)美装	(株)ビジネスサポート
(株)ステップ	横須賀ソフトウェア(株)	(株)横浜エンジニアリングサイエンス
(株)ティー・エム・シー	(株)北斗	シンポー情報システム(株)
(株)トヨシステムエンジニアリング	(株)キャリアエ・レゾ	ノックスデータ(株)
(株)日本インテリジェントビジネス	テクニカルジャパン(株)	(株)ステップホールディングス
日本電子エンジニアリング(株)	(株)データプロセスサービス	

代表理事:水野野市

副理事長:佐藤博彦(常勤)/佐藤崇雄

理事:雑賀政徳/上野昌之/高橋誠/高橋榮一

監事:千葉直樹 顧問:福島義信

事務局 〒239-0847

横須賀市光の丘8-3 YRPベンチャー棟420

TEL:046-847-5490 FAX:046-847-5492

URL:<http://www.yrp-iics.or.jp>



静岡県ソフトウェア事業協同組合

理事長 成川 秀樹

<http://ssanet.jp>

安心・信頼と継続のための県内ネットワーク

- ◆ 常に最先端技術情報を共有
- ◆ 各組合企業体制の強化を図る
- ◆ 企業開発ソフトのシステム保守問題お手伝い
- ◆ 組合員の取引範囲拡張を図る
- ◆ 情報発信ステーションの役目を果たす
- ◆ JASPAとのジョイント

<組合企業30社>

株アイ・システム	F K C(株)	株ティー・ジェイエス
株アイズ・ソフトウェア	株エムシーキューブ	株電算インフォメーション
株アイティエス	株ガーデンソフト	株東報
株ITSコア	株建設システム	TOSEI(株)
有アイ・プランニング	株コサウェル	株PE-BANK
株アイ・ブロード	株システムオリジン	株富士フォーチュン
株アクシス	株ジープロシューマーズ	株ユニテック
株アドバンスシステムソフト	株スギナシステム	株ラ・ドゥ
株アムロ	株ステップコム	ランアンドケントス(株)
インターナショナルシステムズ(株)	株第一システムプロダクト	株ワークノアート

【事務局】 〒422-8055 静岡市駿河区寿町6番34号 (株)電算インフォメーション内

TEL:054-289-2210 FAX:054-289-2209 E-Mail:ssa-info@ssanet.jp

HISCO ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合

<http://www.hisco.jp/>

事長 川井利通 (株) イン ネット 代表取締役
 副理事長・九州支部長 伊集院一人 (株) システック福岡 代表取締役
 理事・関西支部長 田中秀範 (株) テクノアイ 代表取締役
 理事 高畑道子 (株) F M . B e e 代表取締役社長
 理事 宮井 茂 (株) サミットシステムサービス 執行役員
 理事 北村雄吾 ソフトキューブ(株) 代表取締役
 理事 奥出邦且 (株) 日本ビュアシステム 代表取締役
 理事 鈴木良雄 エレクス(株) 代表取締役

理事 加来信夫 (株) アドコムソフト 代表取締役
 理事 岡万里子 (株) エル・エス・アイ 代表取締役
 理事 青谷哲也 日本システムスタディ(株) 代表取締役社長
 理事・関東支部長 伊藤整一 (株) 網屋 代表取締役社長
 理事 小幡忠信 アルカディア・システムズ(株) 代表取締役
 監事 足立順一 アスノシステム(株) 相談役

関西支部・九州支部・関東支部
 緩やかな連合で活動しています。



会員募集中

【九州支部】	【関西支部】	【関東支部】	
(株)アドコムソフト (株)エル・エス・アイ (株)システック福岡 (株)シフト 日本システムスタディ(株) (株)ユー・エス・イー (株)アイライフ (準会員) エモーションウェブ(株) (準会員) 九州 NS ソリューションズ(株) (準会員) (財)九州先端科学技術研究所 (準会員)	アクセス(株) (株)アスタリスク アスノシステム(株) アルカディア・システムズ(株) (株)アルメディア・ネットワーク (株)インネット (株)F M. B e e (株)クリエイション (株)クリオシステム ケイプラス(株) (株)サミットシステムサービス (株)シー・シェルコーポレーション センターフィールド(株)	ソフトキューブ(株) 大化物流開発合同会社 (株)チェルト (株)テクノアイ 日本システムマネージメント(株) (株)日本ビュアシステム (株)ハナテックコンピュータシステム バンネットワーク(株) フルタ二産業(株) メモリーハウス(株) (株)アローラ (準会員) ネクストウェア(株) (賛助会員)	(株)網屋 イナソウ(株) (株)インフォグラム エレクス(株) (株)黄葉舎 創研情報(株) (株)プロモート (株)MIRAIt Service Design (有)ゆうコム (株)ワールドスカイ (株)エー・アール・シー (準会員)



関西コンピュータ技術協同組合

経済産業省 認可第517号

代表理事 角谷 幸夫

理事 杉山 貴規

理事 坂井 寿男

理事 米原 眞和

監事 小畑 智尚

組合員72名

〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3丁目4番5号 本丸田ビル3階

電話 06-6263-6613 FAX 06-6263-6614

<http://www.kansai-cea.or.jp/>

<営業地区> 大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、三重県、和歌山県、東京都、
 埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県の区域

<事業内容> ・組合員の行うソフトウェア開発の共同受注 ・組合員のためにする共同宣伝
 ・組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上又は組合事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供
 ・組合員の福利厚生に関する事業 ・前各号の事業に附帯する事業



沖縄県ソフトウェア事業協同組合

代表理事 幸地 長秀

21世紀型ソフトウェア開発コア集団！

開発・育成・発展のために・・・

住所：沖縄県那覇市久茂地1丁目2番20号
電話：098-951-1844
URL：<http://www.softokinawa.net/>
組合員数：15会員 設立：昭和63年12月

■理事

代表理事	株国建システム	幸地 長秀
副理事	株VLC	新城 浩一郎
副理事	(有)グローコミュニケーション	前里 耕司
専務理事	株サウス・ウインド・システム	仲井間 宗邦
理事	株Okicom	小渡 玠
理事	株おきぎんエス・ピー・オー	小那覇 勉
理事	株ダイワ・メディカル・システム	大西 和男
理事	(有)コンピュータリサーチ	金城 太
■監事		
監事	(有)ノアクラフト	金城 忠

■事業内容

- ・共同受注
- ・人材育成
- ・会員交流
- ・広報

会員交流を主軸に今後も、沖縄県ならびに関係団体と協調・連携をとりながら沖縄県のソフトウェア・IT産業の発展と振興に貢献することを目指していきます。

KT-NET

Knowledge & Technology  Information Network

先進技術をビジネス化するプラットフォーム

KT-NETは株式会社KDDI総合研究所の協力を得て東京システムハウスが主催しています。
業種問わずイノベーター企業を対象としたビジネスコラボレーション集団です。

<活動内容>

- 各種勉強会・分科会
Face to Faceで情報交換・発信、人脈作りを行うアナログ交流の場、分科会ではIoTをキーワードにした共同提案やプロトタイピングを実践。
- KT-NETフェスタ
IoT×現場課題のテーマで、各界のトップランナーを招いて事例やビジネスモデルを探る大規模セミナー。
- IT大喜利(飲み会つきアイデアソン)
毎回、ITを利用する立場のゲストが現場課題を提示。受講者はフレームワークに従いチーム別にアイデアを練り、そのまま懇親会でプレゼンテーション。
- アジアソフトウェアビジネス研究会

賛助会員を大募集

現場課題の提供や会員の製品サービスを現場検証いただけるITを利用する側の会社・団体様を賛助会員(年会費無料)として大募集中です。

KT-NET運営委員会 会長 滝嶋 康弘(株式会社KDDI総合研究所)
委員長 林 知之(東京システムハウス株式会社)

会員数：80社(2017年11月現在)
連絡先：東京システムハウス株式会社 KT-NET 事務局 原口
TEL：03-3493-5761 FAX：03-3493-5188 E-MAIL：kt-net@tsh-world.co.jp
URL：<http://www.kt-net.jp/>

NEW LEADERS

ニューリーダーズ
vol.16

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。
第16回は、株式会社アイ・クリエイティブの鈴木様に伺いました。



株式会社アイ・クリエイティブ
代表取締役 鈴木 勝博

創業以来20年間、教育および人財開発の総合企業として、600社以上のお客様の人財開発に携わっています。お客様と共に育ち共に生きていく事業者であり続けます。

皆さん、こんにちは。

JASPA教育・人財副委員長およびMETSA共同求人／人財育成委員長をさせていただいております、株式会社アイ・クリエイティブの鈴木勝博です。

少し自己紹介の意味も兼ねて、弊社の事業を簡単に案内させていただきます。

以下、弊社の事業です。

- ① 個人向けIT教育・生涯教育事業(静岡県内に学校が5校存在します。創業以来20年やっています。)
- ② 不登校生向けの高等学校(発達障害の方も含んだ不登校生の方々が学び高校卒業の資格を取得できる静岡県教育委員会指定、通信制高校技能教育施設。いわゆる一般の高校とほぼ同じ学校です。現在までの15年間で200名近くの高校卒業生を輩出していて、30名の高校生が今も毎日通学しています。また、最近まで5年間、静岡県より未就労者の方の就労支援事業も受託しています。)
- ③ 600社以上の企業研修(9年前に厚生労働省から受託した、ジョブカード関連助成金を使った企業研修モデル事業から始まった事業。以来、600社以上の様々な業種および様々な研修・人財開発事業を、厚生労働省の助成金を活用しながら、行っています。また数年前からは、人財開発制度・人事制度構築支援等のコンサル事業も行っています。こちらの事業で4年前に東京に進出し、首都圏ソフトウェア協同組合(METSA)に入会させていただきました。)
- ④ 今年度から、大前研一氏が経営する株式会社ビジネス・ブレークスルー(BBT)様と提携したことで、超一流講師の経営・ビジネスおよび事業運営・組織開発の映像講座とその講師を使った対面研修が可能となっています。また、日本ユニシス株式会社様と提携しIT技術習得のためのe-Learning講座をJASPA会員様向けに超破格値で

ご提供することが可能となっています。

さて、終わりに、JASPA教育・人財委員会としての活動のご案内をさせていただきます。

現在、委員会の活動として、以下の事業を進めてきています。

1. 共同求人活動 各校での合同企業説明会開催 多くの内定実績を出しています。また、「ジョブヨク」という大学生と社会人との交流イベントに協賛し、新たな求人方法を開拓しています。
2. JASPA会員向けに効果的な人財開発支援サービスを安価で提供していく。
3. 第4次産業革命時代における人材育成の方向性について、経済産業省との情報交換を進めていく。
4. JASPA傘下の各組合単体で行っている求人活動や人材開発事業において、組合間での情報交換流通を図っていく。

以上、どの事業もJASPAの事業としてはとても重要な事業となります。ご関心を寄せていただきご指導ご鞭撻賜れば幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

株式会社アイ・クリエイティブ
住所: 〒410-0048 沼津市新宿町3-15 萩原ビル2F
URL: <http://www.ai-creative.co.jp/index.html>
会社の設立: 1997年4月1日
事業内容: 行政・法人及び各種団体研修、パソコンスクール、
高等学校(通信制高校技能教育施設)
資本金: 2,420万円

企業の個人情報保護・利活用 新JIS Q 15001規格への対応 全面的にサポートいたします



一般社団法人 日本個人情報管理協会

Japan Foundation for Private Information Conservation Organization

〒108-0074 東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前

Tel 03-4415-2031 Fax 03-4415-2032 e-mail: japico@japico.or.jp URL: <http://www.japico.or.jp>

NEW LEADERS

ニューリーダーズ
vol.17

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。
第17回は、株式会社RJCの郡司様に伺いました。

株式会社RJC

代表取締役 郡司 良男



これからも皆様のお役に立てる企業、 ありがとうと言っていただける企業を目指してまいります。

皆様こんにちは。株式会社RJCの郡司です。

JASPAでは経営支援委員会の副委員長という大役を仰せつかり、組合員の皆様のお役に立てるよう日々精進させていただいております。

弊社は、首都圏ソフトウェア協同組合に加盟し、昨年には埼玉ソフトウェア事業協同組合にも加盟いたしました。加盟してから日が浅くはありますが、各組合に貢献できるよう努めていく所存です。

さて、弊社の事業についてご紹介させていただきます。弊社は、サーバー／クライアント／ネットワークの構築を始め、お客様の情報システム部の設計／運用、開発案件も一部行っております。サーバー／クライアント／ネットワークの構築においては、お客様より学校のPC教室構築、自治体のネットワーク構築を始めとして数多くの案件を手掛けてきました。情報システム部の設計／運用については、お客様におけるIT環境が快適になるべく、最新の情報を常に注視しながらITセキュリティに至るまで提案させていただき、運用させ

ていただいております。また、社内では独自に上級運用管理者という基準を設け、お客様にIT環境のより良い提言が出来るよう社員一同取り組んでおります。

起業した時は、リーマンショックの影響で社会全体が冷え込んでおりました。あえてそこで企業したのは、「最低の状況からスタートを切れば、毎年少しずつでも業績が良くなるだろう」との思いでした。そのおかげという訳ではありませんが、皆様に支えられ会社を存続できております。これからも皆様のお役に立てる企業、ありがとうと言っていただける企業を目指してまいります。引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

株式会社RJC

住所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井2-27-2 1F

URL: <http://www.rjcc.co.jp/>

会社の設立：2010年1月29日

事業内容：ITコンサルティング事業、アプリケーション開発事業、BPO事業、保守業務事業、特定派遣事業、ソリューション事業
資本金：500万円

HISCO ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合

会員募集中!

<http://www.hisco.jp/>

関西支部・九州支部・関東支部

上には上がいる。それでも上を向く。

本部事務局 大阪府大阪市中央区南久宝寺町2-1-2 竹田ビル5階
株式会社インネット内
TEL:06-6263-2330 e-mail:info@hisco.jp

NEW LEADERS

ニューリーダーズ
vol.18

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。第18回は、株式会社アイティエスの河原様に伺いました。

株式会社アイティエス

札幌事業所

取締役所長 河原 健光



JASPA22世紀フォーラムへ参加して間もないですが、皆様のご協力、ご指導をいただきながら無理なく参加させていただき、勉強させていただいております。

JASPA会員の皆様におかれましては日頃の組合活動に敬服いたします。この度、22世紀フォーラムの交流委員会及びビジネス委員会に参加させていただく事になりました株式会社アイティエス札幌事業所の河原です。北海道ソフトウェア事業協同組合に在籍しております。

我が社は静岡県三島市を拠点に「地元生まれが、地元で安心して働ける会社」をモットーに創業以来42年間地元を中心に事業活動をさせていただいております。

代表的な事業としては以下の内容です。

1. FA機器メーカー様に代わり、リペアセンタ、コールセンタ、フィールドサービスセンタなど様々なサービス・サポート体制をご提供
2. 工場におけるFAシステムの構築からソフトウェアの開発
3. OA機器販売、クラウド保守サービス、建設業向けサービス

私が担当しております札幌事業所は1996年に建設業向けパッケージソフトの販売を開始以来、21年間北海道に根付いて事業を展開しております。

現在では、パッケージソフトの販売だけではなく、建設

現場のあらゆるニーズにお応えできるよう体制を整えて、ICT導入が加速する建設業のお客様の対応をさせていただいております。

また、先日、地元三島市の三島甘露を原料にした「うぶすな紙」を開発し、三島信用金庫「第七回夢企業大賞」の最優秀賞と「グッドデザイン静岡賞」を受賞いたしました。

名刺にも活用できますので是非一度お試しいただければと思います。

今後とも、JASPA会員企業の皆様のお力添えをいただきながら、建設業のお客様へ新たなサービスを展開して行きたいと考えておりますので、ご協力いただければ幸いです。

22世紀フォーラムも同世代の方が多いので、楽しませていただいております。皆様も是非ご参加ください。

以上、よろしくお願いいたします。

株式会社アイティエス

住所: 〒411-0816 静岡県三島市梅名427-1

URL: <http://www.itsg.co.jp/>

会社の設立: 1976年3月

事業内容: FA技術サービス、システムエンジニアリング、

OA・FA機器販売&サポート

資本金: 3100万円

先進テクノロジーをつくる
TKKYU

地球ソリューションズ(株)は確かな技術をご提供します。

**パートナー企業様
求む!!**

弊社では様々なシーンでのシステム受託開発|受託請負開発を得意とする企業です。トータルソリューションのご提案から個別システム開発まで、幅広い「ニーズ」と「シーズ」に対応します。システム受託開発|受託請負開発をご依頼、ご相談して頂けるパートナー様を求めています。案件のご相談を頂ける企業様、是非この機会にお声をかけて頂ければと思います。

地球ソリューションズ株式会社

〒980-0014 仙台市青葉区本町3丁目5番21号 ☎022-265-4511(担当:阿久津)

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-10-10 ☎03-3258-5311(担当:重富)

事業案内 受託開発 / システムインテグレーション / 技術コンサルティング / PMO支援業務

平成29年1月19日

東京都港区「グランドプリンスホテル高輪 プリンスルーム」にて、賀詞交歓会 開催

出席者280名

●特別講演

テーマ「IoT時代を生きる」東京電機大学 学長 安田 浩氏

●特別記念イベント／パネルディスカッション

テーマ「IoT時代における情報セキュリティ教育
～人財不足を解消するための施策とは～」

パネラー:

東京電機大学 学長 安田 浩氏

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会 会長 長谷川 巨氏

東京システムハウス 代表取締役 林 知之氏

株式会社PE-BANK 常務取締役 又吉 秀智氏

コーディネーター: 全国ソフトウェア協同組合連合会 会長 中島 洋
(幹事: 22世紀フォーラム)



賀詞交歓会/JASPA各組合理事長



来賓挨拶/平井たけや自由民主党IT戦略特命委員長



特別記念イベント/パネルディスカッション アトラクション/立教大学チアリーダー

平成29年1月19日、20日

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、事務局長会議、運営委員会 開催

●事務局長会議 出席者13名

1. 各組合の現状および今後の展望等に関する情報交換

●運営委員会 出席者34名

1. H29年度JASPA賀詞交歓会について
2. JASPA専任委員会からの報告
3. JASPAフェア実行委員会からの報告

●懇親スポーツ大会 太平洋クラブ 美野里コース

平成29年2月3日

東京都港区「関東ITソフトウェア健康保険組合山王健保会館」にて、第2回CSAJ/JASPA/JIET共催ビジネスマッチング商談会 開催

JASPAからは、グローバル・リレーションズ株式会社、東京システムハウス株式会社、株式会社トリプルアイズ、株式会社エー・アール・シーの4社が参加した。



3団体共催ビジネスマッチング会

平成29年2月9日

東京都千代田区「霞が関ビル 東海大学校友会館」にて、一般社団法人 日本IT団体連盟 新春交歓会 開催

多忙な中、高市早苗総務大臣、中川俊直経済産業大臣政務官、橋本岳厚生労働副大臣、自由民主党IT戦略特命委員長 平井たけや議員、公明党IC社会推進本部長 高木美智代議員など、多くの来賓が出席した。



高市早苗総務大臣他、来賓の皆様

平成29年2月16日、17日

静岡県熱海市「ニューフジホテル 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合: 静岡県ソフトウェア事業協同組合)

●運営委員会 出席者31名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. 平成29年JASPAフェアについて
3. 賀詞交歓会の報告
4. 日本IT団体連盟活動報告

●懇親スポーツ大会 伊豆大仁カントリークラブ 富士コース



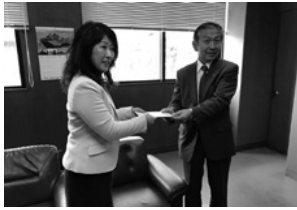
運営委員会



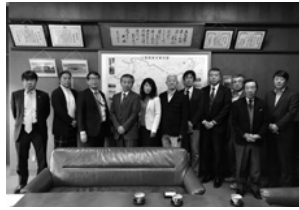
懇親会

平成29年3月16日

熊本県南阿蘇村役場、南阿蘇村教育委員会 表敬訪問
JASPA有志11名にて、熊本県南阿蘇村役場、及び、南阿蘇村教育委員会を訪問し、先の熊本地震に対する災害見舞金を届けた。



熊本県南阿蘇村長に、災害見舞金を渡す 熊本県南阿蘇村長及びJASPA訪問団 櫻井社会貢献・福利厚生委員長



平成29年3月16日、17日

熊本県熊本市「熊本キャッスルホテル 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 九州支部)

- 運営委員会 出席者30名
 1. JASPA専任委員会からの報告
 2. 平成29年JASPAフェアについて
 3. 日本IT団体連盟活動報告
 4. 第22回通常総会のご案内
 5. METSA会員からの「働き方改革」イベント後援依頼の件
- 懇親スポーツ大会 熊本空港カントリークラブ

平成29年4月13日、14日

沖縄県那覇市「バシフィックホテル沖縄 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合：沖縄県ソフトウェア事業協同組合)

- 運営委員会 出席者32名
 1. JASPA専任委員会からの報告
 2. 平成29年JASPAフェアについて
 3. 第22回通常総会のご案内
 4. 日本IT団体連盟活動報告
 5. 「JASPA」商標登録の件
- 懇親スポーツ大会 那覇ゴルフ倶楽部



運営委員会



懇親会(沖縄の音楽)

平成29年5月18日

東京都港区「品川フロントビル」にて、JASPAフェア2017開催

出席者416名

- 基調講演
 1. 「IT利活用と人材育成(IT業界の課題と施策展開)」
経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課課長 滝澤 豪氏
 2. 「企業成否は情報分析にあり」
株式会社パースペクティブ・メディア 代表取締役 小口日出彦氏
- 技術トラック
 1. 「最新セキュリティ事情と求められる人材」
ITキャリア推進協会 副理事長 平 正人氏

2. 「VRの可能性と活用事例」

ソフトバンク株式会社 サービスコンテンツ本部

VR事業推進室 室長 加藤欽一氏

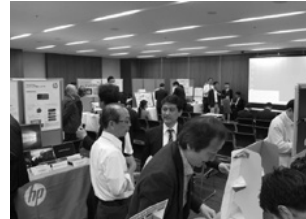
3. 「カラス対策を目的としたドローンの開発」

総合研究大学院大学 学融合推進センター 助教 塚原直樹氏

- 展示コーナーの他、ビジネスマッチング「ビジネス市場」も同時開催



講演会場



展示会場



懇親会

平成29年5月18日、19日

東京都港区「TKP品川港南会議室」にて、運営委員会、JASPA共済会総会、第22回通常総会 開催

(幹事組合：埼玉ソフトウェア事業協同組合)

- 運営委員会 出席者28名
 1. 第22回通常総会の開催について
 2. 22世紀フォーラム役員改選の件
 3. 日本IT団体連盟からの合同賀詞交歓会の提案について
- JASPA共済会総会 出席者28名

【決議事項】

1. 第19期決算関係書類承認の件
2. 第20期における事業の収支計画

- 第22回通常総会 出席者28名

【決議事項】

1. 平成28年度事業報告書及び決算関係書類承認の件
2. 平成29年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件
3. 平成29年度借入金残高の最高限度決定の件
4. 1組員に対する貸付金残高の最高限度決定の件
5. 手数料及び貸付利息の最高限度決定の件
6. 役員報酬決定の件
7. 役員変更の件

- 懇親スポーツ大会

オリムピック・カントリークラブ レイクつぶらだコース



第22回JASPA通常総会



懇親スポーツ大会

平成29年6月7日

東京都千代田区「ホテルニューオータニ」にて、
一般社団法人 日本IT団体連盟
第1回定時総会・懇親会 開催
【決議事項】

1. 第1期事業報告および決算報告の承認に関する件
 2. 第2期事業計画案および予算案の承認に関する件
 3. 定款変更(案)の件
 4. 理事選任の件 安延申会長 副会長就任
- 懇親会には、多忙な中、高市早苗総務大臣、高木陽介経済産業副大臣、平井卓也IT戦略特命委員長、公明党高木美智代議員など、多くの来賓が出席した。



副会長就任挨拶をする安延申会長



来賓挨拶/高市早苗総務大臣

平成29年6月14日、15日

宮城県石巻市にて、被災地視察 開催

6月14日、屋台村「橋通り COMMON」にて会食、
二次会は「復興バー石巻」を訪問
6月15日、「石巻から1000人のIT技術者を育成する」一般社団法人
イトナブ石巻を訪問、「ダンボルギーニ」で有名になった今野梱包
株式会社を訪問



屋台村「橋通り COMMON」



屋台村「橋通り COMMON」



一般社団法人イトナブ石巻



今野梱包株式会社の「ダンボルギーニ」

平成29年6月15日、16日

宮城県仙台市

「宮城県ソフトウェア事業協同組合 会議室」にて、
運営委員会 開催

(幹事組合:宮城県ソフトウェア事業協同組合)

●運営委員会 出席者30名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. 平成29年JASPAフェア報告
3. JASPA役員選任について
4. 日本IT団体連盟活動報告

●懇親スポーツ大会 仙台クラシックカントリー倶楽部

RJC 株式会社RJC

インフラ設計・構築

ITインフラ(ネットワーク・サーバー)
の設計～構築までを行います。

BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

IT部門が抱える問題を弊社が解決。
負荷の軽減を図ります。

RJCはお客様により添ったサービスを
ご提案いたします。

運用・保守

お問い合わせの受付から障害の
切り分け、ハード・ソフトを含めた
システム保守をワンストップで実現します。

ソリューション

システム導入の企画・コンサルティングから
PCのインストール・設定などの
キッティング業務まで幅広く対応致します。

アプリケーション開発

業務システムのアプリケーション
開発を行います。
組込型の開発も手掛けています。

〒177-0044
東京都練馬区上石神井2-27-2
株式会社RJC
03-5903-8119

平成29年7月13日、14日

北海道札幌市「ホテルさっぽろ芸文館 会議室」にて、 運営委員会 開催

(幹事組合：北海道ソフトウェア事業協同組合)

●運営委員会 出席者31名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. JASPA役員選任の件
3. 経済産業省 情報処理振興課再編の報告
4. 平成29年度情報化促進貢献個人等表彰の件
5. 平成29年JASPAフェア報告
6. WCIT台北2017視察について
7. 一般社団法人ITキャリア推進協会相互入会の件
8. CSAJ/JASPA/JIET共催ビジネスマッチング商談会の件

●懇親スポーツ大会 札幌エルムカントリークラブ(東コース)

平成29年8月3日、4日

青森県青森市「ラ・プラス青い森 会議室」にて、 運営委員会 開催

(幹事組合：青森県ソフトウェア協同組合)

●運営委員会 出席者31名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. 平成30年JASPAフェアについて
3. 平成29年度情報化促進貢献個人等表彰推薦の件
4. HISCO IT経営改革フォーラムについて
5. KT-NETフェスタについて
6. WCIT台北2017視察について
7. 青森県の情報産業施策と誘致支援の紹介

●懇親スポーツ大会 東奥カントリー倶楽部



運営委員会



栈敷席でねぶた祭

平成29年9月8日

東京都渋谷区

「株式会社サートプロ 代々木研修センター」にて、 ビジネスとしてのVR/ARセミナー 開催

出席者18名(うち3名は仙台市より、Skype参加)

「VR/ARとは」、「VR/ARビジネスの事例」、
「VR/ARの今後の展望」 石井勇一氏



セミナー風景



実機を使った実体験会

平成29年9月10日～13日

台北市「WCIT台北2017」訪問(TOPICS参照)

9月10日、歓迎パーティー、展示

9月11日、オープニングセレモニー、各種講演、展示、
SYSCOMグループによる歓迎パーティー

9月12日、各種講演、展示、Gala Dinnerパーティー

9月13日、各種講演、展示



オープニングセレモニー



SYSCOMグループによる歓迎パーティー



Gala Dinnerパーティー



展示会場

平成29年9月14日、15日

静岡県静岡市「B-nest静岡市産学交流センター 会議室」 にて、運営委員会 開催

(幹事組合：静岡県ソフトウェア事業協同組合)

●運営委員会 出席者23名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. 経済産業省情報技術利用促進課長との座談会のご案内
3. 平成30年JASPAフェアについて
4. HISCO IT経営改革フォーラムについて
5. KT-NETフェスタについて
6. 日台ソフトウェア企業交流商談会の件
7. 日本医療安全学会学術総会 講演依頼の件
8. 静岡県ソフトウェア事業協同組合企業紹介

●懇親スポーツ大会 富嶽カントリークラブ 白鳥コース

平成29年10月12日、13日

大阪府大阪市「帝国ホテル大阪 会議室」にて、 運営委員会 開催

(幹事組合：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

●運営委員会 出席者33名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. 経済産業省情報技術利用促進課長との座談会のご案内
3. 平成30年JASPAフェアについて
4. 日台ソフトウェア企業交流商談会の件
5. 日本医療安全学会学術総会 講演依頼の件
6. 日本IT団体連盟からのお知らせ
7. KT-NETフェスタについて
8. 地域IT企業との協業による検討ご紹介

●懇親スポーツ大会 山の原ゴルフクラブ



運営委員会



懇親会後の集合写真

平成29年10月16日

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、台湾情報サービス産業協会(CISA)訪問団との意見交換 開催(TOPICS参照)

出席者 JASPA 10名、CISA 18名

1. ウェルカムスピーチ
2. 記念品交換、写真撮影
3. 日本業者紹介
4. 台湾業者紹介

平成29年10月19日

東京都港区「笹川記念館 会議室」にて、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長との座談会 開催(巻頭特集参照)

●座談会テーマ

1. 経済産業省改組の狙い
2. IT人材の育成
3. ユーザーの視点から
4. IT人材教育の推進
5. 部活動を活用したプログラミング教育
6. わが国の人材確保の課題
7. プログラミング教育の将来
8. ベンチャー、中小、地方について
9. シニア層の活用について

●出席者

経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 中野剛志 課長
JASPA 安延申 会長
中島洋 理事・名誉会長
横尾良明 事務局長、岡積正夫 顧問
水野堅市 YRP情報産業協同組合理事長
林知之 埼玉ソフトウェア事業協同組合理事長
齋藤光仁 首都圏ソフトウェア協同組合・埼玉ソフトウェア事業協同組合理事
石井雄二 ビジネス推進委員長、塚本 学 経営支援委員長
近森 満 教育・人材委員長代理
守田徹 グリーンIT協同組合理事長、広報委員長

平成29年11月2日(TOPICS参照)

東京都奥多摩町 JellyFish奥多摩日本語学校 訪問

出席者13名

1. 奥多摩日本語学校見学
2. 鍋パーティーによる交流

平成29年11月9日、10日

長崎県長崎市「ホテルニュー長崎 会議室」にて、運営委員会(ANIA全国大会)開催

●運営委員会 出席者23名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. 平成30年賀詞交歓会について
3. 平成30年JASPAフェアについて
4. 損害保険全国制度およびサイバーリスク保険の導入のご提案



長崎くんちデモンストレーション



ANIA全国大会で鏡開きに参加する安延会長

平成29年11月11日、18日

東京都品川区「株式会社エー・アール・シー 会議室」にて、体系的に学べるIoT検定試験対策講座 開催

受講者 36名



セミナー風景

平成29年11月17日

東京都世田谷区「産業能率大学」にて、業界研究/企業研究セミナー IT業界編に参加



セミナー風景

平成29年12月20日

東京都中央区「BLUE MOOD」にて、忘年パーティー 開催

製造・流通・物流業社様を中心に、IT技術の豊富な経験と業務知識で、情報システム導入に関する企画から、Webシステム開発・管理や保守まで、総合的なサービスを提供いたします。

経営可視化

現場効率化

IT最適化

業務分析

投資効果算定

プロジェクトマネジメント

ERP導入

生産管理

物流管理

お問い合わせ

株式会社ドルフィンスルー <http://www.dolphin-through.co.jp>

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-10-8 五反田S&Lビル4F TEL:03-5423-0236 FAX:03-6426-7837

平成30年1月18日、19日

特別講演会および賀詞交歓会

東京都「グランドプリンスホテル高輪」

特別講演会／パネルディスカッション

○パネラー：経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課課長 中野 剛志氏

東洋経済オンライン 編集長 山田 俊浩氏

国際大学 GLOCOM 主幹研究員 砂田 薫氏

一般社団法人イトナブ石巻 代表理事 古山隆幸氏

○コーディネーター：全国ソフトウェア協同組合連合会 会長 安延 申

テーマ 経済産業省のIT戦略、及び、人材育成・教育について
(幹事：22世紀フォーラム)

●運営委員会

1. 特別講演会・賀詞交歓会開催の件
2. JASPA会報誌No.61号発刊の件
3. 年間活動スケジュール、等

●懇親スポーツ大会

平成30年5月17日、18日

事務局長会議・運営委員会・JASPA共済会総会・

第23回総会・特別講演会・懇親スポーツ大会 於東京都

(幹事組合：電算ソフトウェア協同組合)

平成30年6月14日、15日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於宮城県

(幹事組合：宮城県ソフトウェア事業協同組合)

平成30年7月12日、13日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於長野県軽井沢町

(幹事組合：埼玉ソフトウェア事業協同組合)

平成30年8月2日、3日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於北海道

(幹事組合：北海道ソフトウェア事業協同組合)

平成30年9月27日、28日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於青森県

(幹事組合：ANIA・青森県ソフトウェア協同組合)

平成30年10月18日、19日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於大阪府

(幹事組合：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

平成30年11月15日、16日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於静岡県

(幹事組合：静岡県ソフトウェア事業協同組合)

平成30年12月

平成28年賀詞交歓会実行委員会兼広報委員会 於東京都

(幹事：22世紀フォーラム)

平成30年2月15日、16日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於神奈川県

(幹事組合：YRP情報産業協同組合)

平成30年3月15日、16日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於鹿児島県

(幹事組合：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 九州支部)

平成30年4月12日、13日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於沖縄県

(幹事組合：沖縄県ソフトウェア事業協同組合)

平成30年5月17日

JASPAフェア 東京都品川区立総合区民会館『きゅりあん』

(幹事：22世紀フォーラム)

第23回通常総会と同日開催

編集後記

JASPA会報誌2018年度版を発行しました。編集にあたり2017年度を総括してみました。JASPAにとって記念すべき年となりました。

さておき、まずはこの一年の内外の出来事を振り返ってみますと・・・

(1月)トランプ米大統領就任「保護主義を宣言」。訪日した外国人人数が年間、2,400万人突破(5年間で倍増)。(2月)日米首脳会談。プレミアムフライデー開始。北朝鮮、中距離弾道ミサイル発射。(3月)英国がEUを離脱通告。働き方改革、残業規制(月100時間未満)。(4月)日口首脳会談。北朝鮮情勢、米朝ともに加熱。有効求人倍率、1.48倍、バブル時を超える。(5月)韓国大統領選、文在寅氏が当選。世界各地でサイバー攻撃(日本含め150か国、20万件の被害)。G7首脳宣言「保護主義と戦う」。(6月)小池都知事が豊洲市場へ移転表明。(7月)都議選、都民ファーストが圧勝。(8月)第3次安倍改造内閣発足。最低賃金平均848円に引き上げ。GPIFの四半期運用益が5.1兆円プラス。北ミサイル日本上空を。内閣府調査「現在の生活に満足」73.9%過去最高。(9月)北朝鮮が水爆実験。安倍首相、解散表明。小池知事が「希望の党」立ち上げ。(10月)第48回衆院選、自民党が単独圧勝する、立憲民主党が躍進、希望の党は失速。日経平均株価21年ぶり高値更新(22,000円を突破)。(11月)トランプ米大統領が初来日、第98代総理大臣に安倍首相が再選。日経平均株価が高騰、バブル崩壊後の最高値を更新。などなど。

我々のIT業界も我が国の経済発展を受け、特に通信や流通の需要増や技術の進化もあり、それなりに好調でした。むしろIT分野におけるAI、IoT、VRなどの新たな技術の進化によって日本経済の底上げに貢献しているとも言えるのでは・・・。但し、高齢化や好況が故の「人材不足」に

はIT業のみならず全産業の深刻な悩みとなっています。

さて我が連合会においては記念すべき2017年となりました。

まずは、5月の総会において中島会長が退任され、新たに安延会長が就任されました。10年間の長きにわたり会長職を務められ、全国各地に奔走西走し、JASPAの活動に寄与されたばかりでなく業界の発展に尽くされた中島会長には心より深く感謝申し上げます。今後も名誉会長としてJASPAへの支援、協力をお願いすることとなりました。安延新会長は奇しくもJASPAの認可省庁の通商産業省(現・経産省)で20年前の担当課長であったとのこと、不思議なご縁です。そんな訳でJASPAの設立主旨や本来の役割を理解していただいて、IT業界での業績や多くの人脈をお持ちの安延新会長にはどうぞ期待です。

そして、当連合会の2018年のスローガンは・・・。“Make the Future”「変革に挑むJASPA」です。中小のソフトウェア業の集まりであるJASPAの意気込みを感じ取ってください。5月には「JASPAフェア」も開催しますので是非ともご参加ください。

会報誌の編集・発行にあたり、当連合会の多くのイベントや対外的な催しに精力的に活動していただいた中島名誉会長と安延会長に心からお礼申し上げます。そして、毎年のことですが資料のまとめや年間の活動記録、会報誌の多くの原稿を作成していただいた事務局の鷹羽さんに感謝します。

さらに本号の発行に当たり、会報誌の発行の原資であります広告を掲載いただいた広告主各位に厚く御礼申し上げます。

広報委員長／守田 徹

首都圏ソフトウェア協同組合(METSA)

官公需適格組合(20160224関東第35号)



METSAは100社超のソフトウェア業の事業者が結集する協同組合です。
組合員並びに関係団体のご支援ご協力のもと、企業運営全般にお役立て頂く
ことができる諸事業を実施しております。「ダイレクト商談会」を毎週水曜日に
開催、「ホームページWeb入札研究会」と共に官公庁入札に挑戦します。「共同
求人／人材育成委員会」は中長期の人材確保に資する活動を行い、「組合活性
化委員会」は会員相互の親睦と交流を図ります。その他、月例協議会、懇親会、
講習講演会、施設利用、社員健康診断など引き続き実施してまいります。

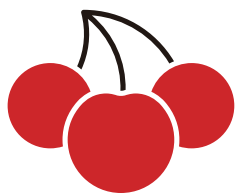
役員	
代表理事	安延 申
理事	齋藤 光仁
理事	中島 洋
理事	小池 保典
理事	福原 智
理事	田井中 友香
理事	石川 圭相
監事	樽屋 有美子

アークシステム(株)
(株)ISLWARE
(株)アイブイピー
アスノシステム(株)
(株)アフロシー
(株)インターフュージョンコンサルティング
(株)ウチダ人材開発センタ
(株)エスアイリサーチ
FKC(株)
(株)エム・ケイ
(株)エム・ソフト
(株)オーミック
開仁産業(株)
(株)クオン
(株)KDK
(株)コスモデザイン
コンピュータハウス ザ・マイクロ東京
(株)サン・コンピュータ
(株)シーセクト
(株)システック
(株)システム・テクノロジー
しゅくみねっと(株)
(株)ゼネテック
(株)千代田ソフトコンサル
DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン(株)
(株)Togenryu
日本情報産業アライアンス(株)
(株)ノベルットソフトウェアインダストリー
(株)ハッチエッグ
ヒューロン(株)
For The Win(株)
プラムシステムズ(株)
ベースシステム(株)
万達情報日本(株)
(株)メンドロジック
ユース・情報システム開発(株)
(株)リゾーム
ワクコンサルティング(株)

(株)アースネット
(株)アイ・クリエイティブ
(株)アイムシステムサービス
(株)アトリス
(株)アンヴィル
(株)インテ・クレッセ
(株)HT-Solutions
(株)エス・イー・シーハイテック
(株)エフネット
(株)エムシーキューブHD
(株)エム・デー・ビー
(株)おきぎんエス・ピー・オー
ガゼル(株)
グローバル・リレーションズ(株)
(株)コードダイナミクス
コムチュア(株)
(株)コンピュータブラネックス
(株)シーキューブソフト
(株)ジェイテック
(株)システム・アシスト
(株)システムブレインズ
(株)ジョニー・ジャガー・ジャパン
総合事務管理(株)
(株)ゾノー
(株)デジタル
(株)東報
日本トータルサービス(株)
(株)パートナー
(株)パワービーンズ
(株)ブル・ジャパン
(株)フォーミックス
(株)ブランチ
マクロシステム(株)
(株)ミライカ
(株)メディアテック
ラシスソリューションズ(株)
(株)リマック

(株)RJC
(株)アイ・シー・ティー二十一
アストップ(株)
(株)アビリティ
(株)E-Safenet
(株)インテリジェンツ
(株)ACU
エヌ・ラボ(株)
(株)MM総研
(株)エムズフィールド
(株)OTソリューションズ
(株)オモロ
(株)キャリアシステムズ
(株)ケイ開発
(株)国際マイクロ写真工業社
(株)コムテップ
(株)三恵クリエス
シースリーインデックス(株)
シオステクノロジー(株)
(株)システムシンク
(株)システム・ロジックス
(株)SAY企画
(株)DynaxT
(株)ディア
(株)天時情報システム
(株)トリプルアイズ
ネクストウェア(株)
(株)ハーベル
(株)PE-BANK
(株)フェザード
(株)プライム・ナンバーズ
ブレインズシステム(株)
マルマンコンピュータサービス(株)
明和ロジシステム(株)
(株)ユー・エス・イー
ランアンドケントス(株)
(株)流通戦略総合研究所

事務局 〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号 グレイスビル泉岳寺前
TEL.03-3473-9822 FAX.03-3446-4180 担当:小倉 治雄
ホームページ: <http://www.syutoken.or.jp/> E-Mail: metsa_info@jaspanet.or.jp



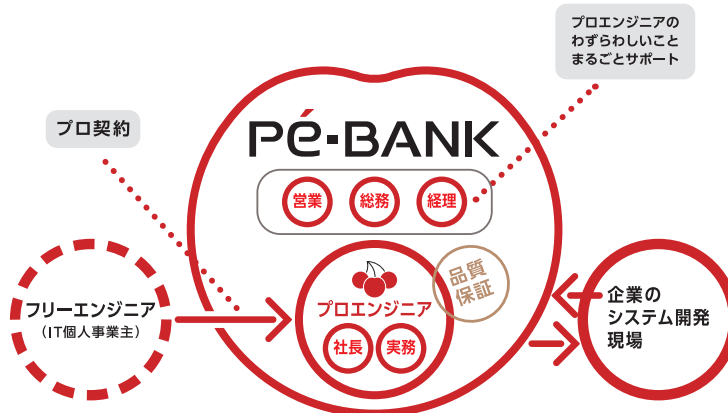
株式会社 PE-BANK

本 社 tel: 03-3473-9877
北海道支店 tel: 011-209-1110
東北支店 tel: 022-355-6901
中部支店 tel: 052-205-8050
関西支店 tel: 06-6232-0556
岡山支店 tel: 086-235-9970
広島支店 tel: 082-511-8750
九州支店 tel: 092-263-6306
京都営業所 tel: 075-555-3021

<https://pe-bank.co.jp>
(コーポレートサイト)

<https://pe-bank.jp>
(PE-BANK オフィシャルサイト)

PE-BANK



「PE-BANK」が ITの現場の人材不足を解消します。

『PE-BANK』では、当社とプロ契約を結んだ "プロエンジニア" としての教育を徹底することで、スキルアップやプロ意識の向上を図り、エンジニアの品質保証を実施し、優秀な "プロエンジニア" を適材適所にコーディネートし ITの現場での深刻な人材不足を解消します。

システムインテグレータ企業から トータル“サービス”インテグレータ企業へ



USEは、本年度創業49年目を迎える独立系のトータルサービスインテグレータ企業です。

“サービスのご提供”を着眼点に、大手SIer様の優良ビジネスパートナーとして、これまで数多くの大規模システムの構築に携わって参りました。更に、その経験で得た技術力・業務ノウハウを強みに近年一般法人様とのお取引も拡大させております。

USEをお客様のコアエンジンとして存分にご活用ください。ご要望を超えた「真のサービス」を提供して参ります。

株式会社ユー・エス・イー
代表取締役社長 吉弘 文平

株式会社 ユー・エス・イー



住所 東京都渋谷区恵比寿4-22-10
tel 03-5449-8511 URL <http://www.use-ebisu.co.jp/>
資本金 9千万円 従業員数 710人 売上高 93億円
事業所 東京本社、恵比寿アネックス、名古屋、大阪、福岡
関連会社 (株)ユー・エス・イー ビジネスソリューション (株)ユー・エス・イー コート



各官公庁様
入札資格ランク A